

市民アンケート調査報告書

①調査目的

- 市民の住宅・住環境に関する現状認識や将来に対する意向、住宅政策への意見等を把握する。

②回答期間

- 令和6（2024）年9月11日配布、10月7日締め切り

③実施方法

- 18歳以上の市民を対象に、年齢別・地域別で3,000名を無作為抽出
- 郵送による配布・回収、ウェブ回答併用（3,000件配布のうち、宛先不明戻り30件、回答無効票1件）

④回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
2,970 件	713 件 (郵送 522 件、ウェブ 191 件)	24.0%

1 あなたご自身についておたずねします

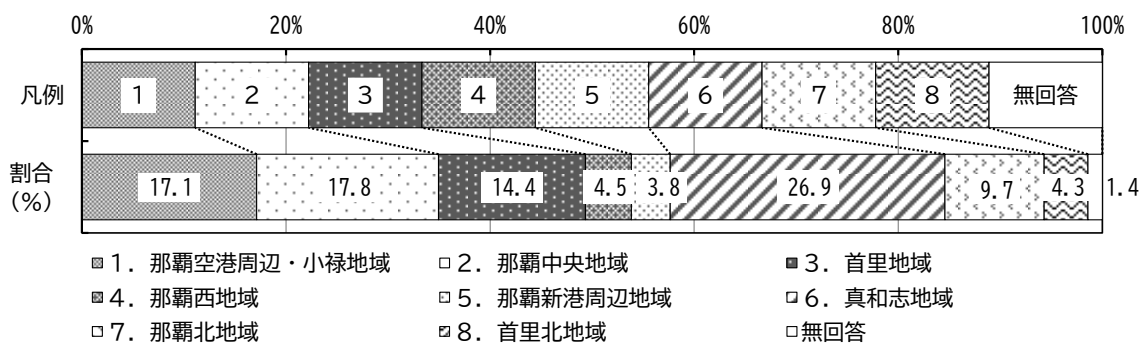
【問1】あなたのお住いの地区はどこですか。このアンケートの入っていた封筒に記載している【地区番号】をご確認のうえお答えください。

- | | | |
|---|--------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 那覇空港周辺・小禄地域 | <input type="checkbox"/> 2. 那覇中央地域 | <input type="checkbox"/> 3. 首里地域 |
| <input type="checkbox"/> 4. 那覇西地域 | <input type="checkbox"/> 5. 那覇新港周辺地域 | <input type="checkbox"/> 6. 真和志地域 |
| <input type="checkbox"/> 7. 那覇北地域 | <input type="checkbox"/> 8. 首里北地域 | |

回答者の居住地域をみると、「6. 真和志地域」が3割弱（26.9%）と最も高く、次いで「2. 那覇中央地域」（17.8%）、「1. 那覇空港周辺・小禄地域」（17.1%）が2割弱、「3. 首里地域」が1割強（14.4%）、「7. 那覇北地域」が約1割（9.7%）となっており、それ以外の地域は4%前後となっている。

前回調査（2019（令和元）年度）と比べ、「2. 那覇中央地域」や「3. 首里地域」の回答がやや高い一方で、「8. 首里北地域」の回答が半減している。また、2024（令和6）年6月時点の地域別人口と比べると、「2. 那覇中央地域」や「3. 首里地域」が高く、「7. 那覇北地域」や「8. 首里北地域」が低く、地域の偏りが多少みられる。

問1 お住いの地区（単一回答）

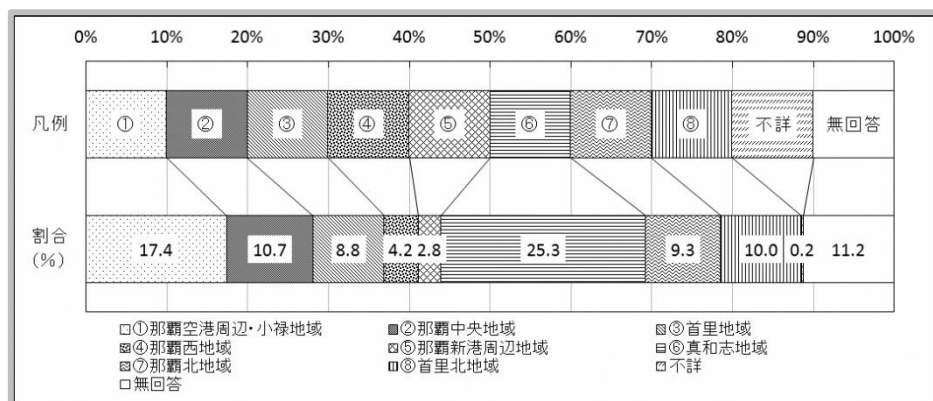


問1 あなたのお住いの地区はどこですか。

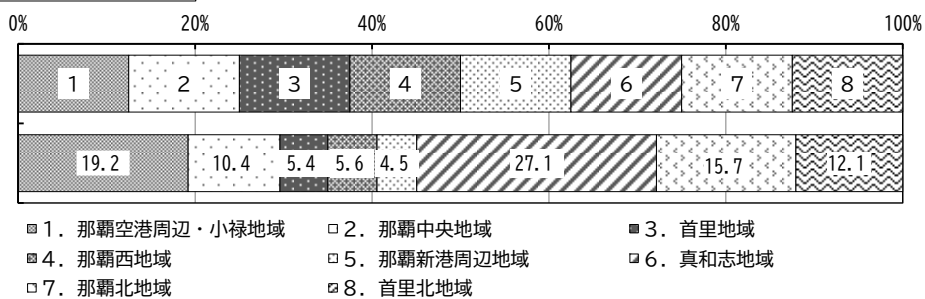
（単数回答）

	件数	割合 (%)
1. 那覇空港周辺・小禄地域	122	17.1
2. 那覇中央地域	127	17.8
3. 首里地域	103	14.4
4. 那覇西地域	32	4.5
5. 那覇新港周辺地域	27	3.8
6. 真和志地域	192	26.9
7. 那覇北地域	69	9.7
8. 首里北地域	31	4.3
無回答	10	1.4
合計	713	100.0

前回調査（2019（令和元）年）



地域別人口（2024年6月時点）



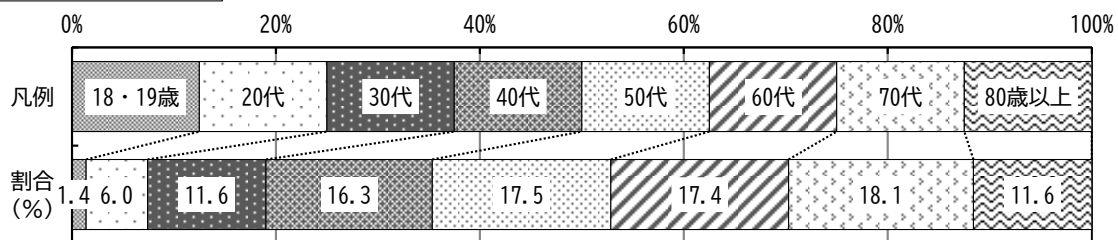
〔問2〕 あなた自身の年齢を選んでください。

<input type="checkbox"/> 18・19歳	<input type="checkbox"/> 20代	<input type="checkbox"/> 30代	<input type="checkbox"/> 40代
<input type="checkbox"/> 50代	<input type="checkbox"/> 60代	<input type="checkbox"/> 70代	<input type="checkbox"/> 80歳以上

回答者の年齢について、「70代」が2割弱（18.1%）と最も高く、次いで「50代」（17.5%）、「60代」（17.4%）となっている。若者世代である「18・19歳」～「30代」は合わせて2割弱（19.0%）となっている。

参考までに、2024（令和6）年6月時点の年齢別人口割合と比較すると、30代以下の回答割合が低く、60代以上の回答割合が高くなっている。

問2 あなた自身の年齢（単一回答）

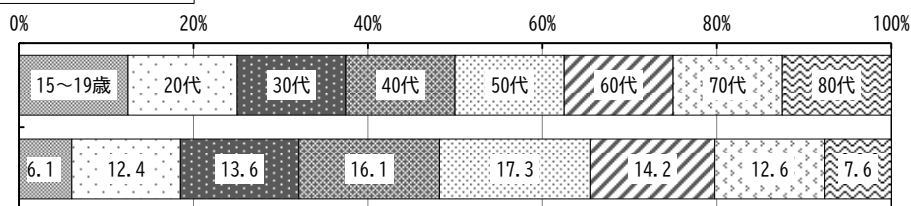


問2 あなた自身の年齢

（単数回答）

	件数	割合 (%)
18・19歳	10	1.4
20代	43	6.0
30代	83	11.6
40代	116	16.3
50代	125	17.5
60代	124	17.4
70代	129	18.1
80歳以上	83	11.6
合計	713	100.0

年齢別人口（2024年6月時点）

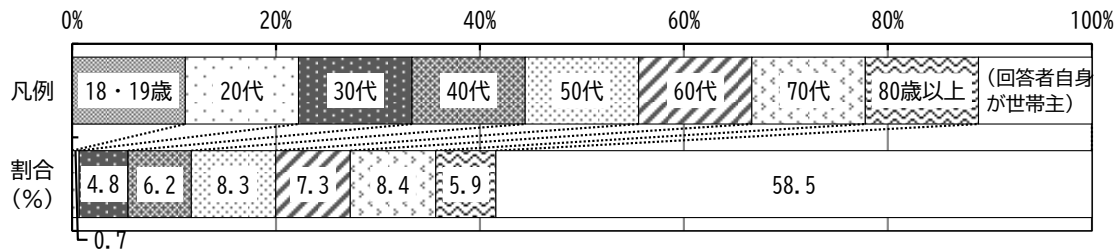


【問3】あなたが世帯主でない場合、世帯主の年齢を選んでください。

<input type="checkbox"/> 18・19歳	<input type="checkbox"/> 20代	<input type="checkbox"/> 30代	<input type="checkbox"/> 40代
<input type="checkbox"/> 50代	<input type="checkbox"/> 60代	<input type="checkbox"/> 70代	<input type="checkbox"/> 80歳以上

世帯主の年齢について、「70代」が約2割（19.8%）と最も高く、次いで「60代」（18.1%）、「50代」（17.8%）となっている。前回調査と比較すると、20代以下と30代がやや増加し、60代が減少している。

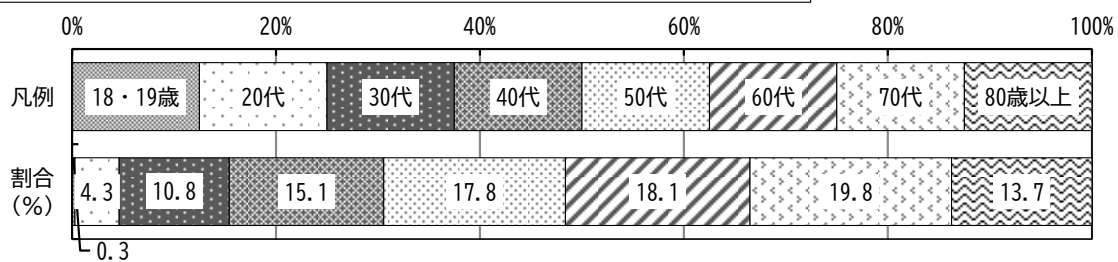
問3 あなた（回答者）が世帯主でない場合の世帯主の年齢（単一回答）



問3 あなた（回答者）が世帯主でない場合の世帯主の年齢（単数回答）

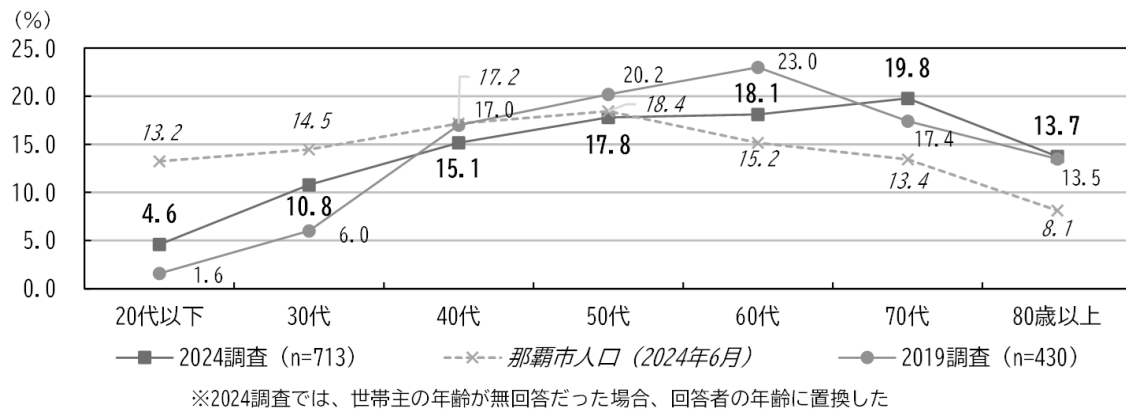
	件数	割合 (%)
18・19歳	0	0.0
20代	5	0.7
30代	34	4.8
40代	44	6.2
50代	59	8.3
60代	52	7.3
70代	60	8.4
80歳以上	42	5.9
無回答	417	58.5
合計	713	100.0

※世帯主の年齢（問3が無回答（回答者が世帯主）の場合は、問2の年齢に置換）



※世帯主の年齢（問3が無回答（回答者が世帯主）の場合は、問2の年齢に置換（単数回答）

	件数	割合 (%)
18・19歳	2	0.3
20代	31	4.3
30代	77	10.8
40代	108	15.1
50代	127	17.8
60代	129	18.1
70代	141	19.8
80歳以上	98	13.7
無回答	0	0.0
合計	713	100.0



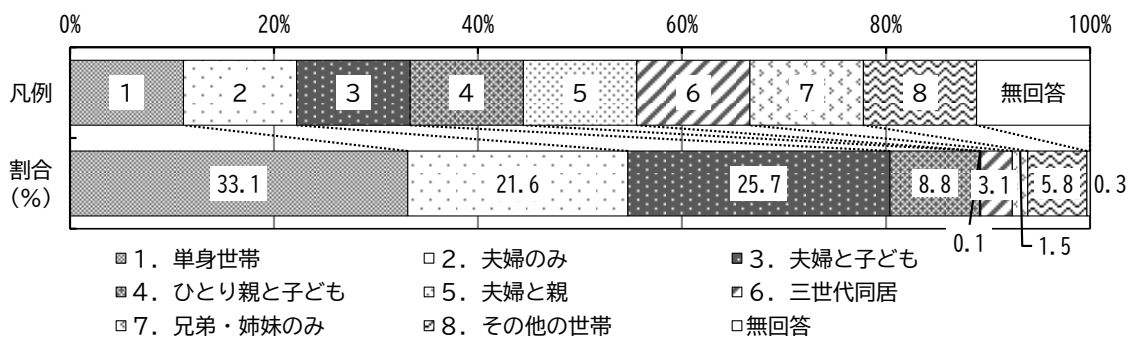
注) 那覇市人口は那覇市ホームページ「人口統計 年齢層別人口 (2024 (令和6) 年6月末現在)」より作成

〔問4〕世帯の構成はどれにあてはまりますか。1つ選んでください。

- | | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 単身世帯 | <input type="checkbox"/> 2. 夫婦のみ | <input type="checkbox"/> 3. 夫婦と子ども |
| <input type="checkbox"/> 4. ひとり親と子ども | <input type="checkbox"/> 5. 夫婦と親 | <input type="checkbox"/> 6. 三世帯同居 |
| <input type="checkbox"/> 7. 兄弟・姉妹のみ | <input type="checkbox"/> 8. その他の世帯 | |

世帯構成は、「1. 単身世帯」が3割強 (33.1%) と最も高く、次いで「3. 夫婦と子ども」(25.7%)、「2. 夫婦のみ」(21.6%) となっている。

問4 世帯構成 (単一回答)



問4 世帯構成

(単数回答)

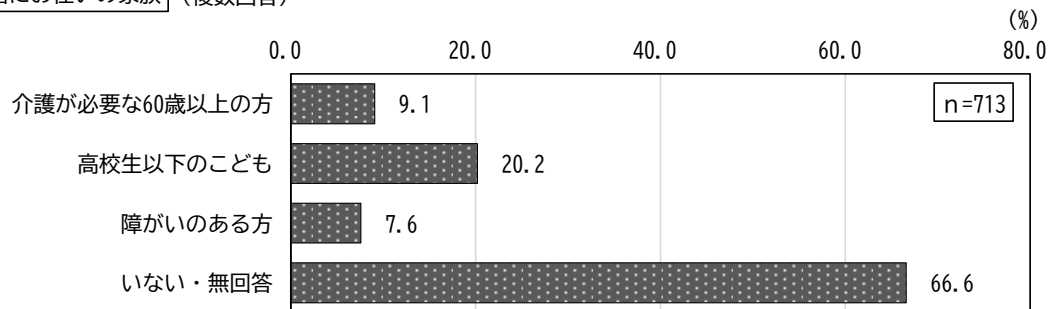
	件数	割合 (%)
1. 単身世帯	236	33.1
2. 夫婦のみ	154	21.6
3. 夫婦と子ども	183	25.7
4. ひとり親と子ども	63	8.8
5. 夫婦と親	1	0.1
6. 三世帯同居	22	3.1
7. 兄弟・姉妹のみ	11	1.5
8. その他の世帯	41	5.8
無回答	2	0.3
合計	713	100.0

【問5】 あなた自身や一緒にお住まいのご家族(同居人)に、以下の方はいますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。

介護が必要な60歳以上の方：	<input type="checkbox"/> いる	<input type="checkbox"/> いない
高校生以下の子ども：	<input type="checkbox"/> いる	<input type="checkbox"/> いない
障がいのある方：	<input type="checkbox"/> いる	<input type="checkbox"/> いない

同居人について、「高校生以下の子ども」がいる割合は約2割（20.2%）、「介護が必要な60歳以上の方」は約1割（9.1%）、「障がいのある方」は7.6%となっている。いずれも「いない」割合は7割弱（66.6%）となっている。

問5 一緒にお住いの家族（複数回答）



問5 一緒にお住いの家族であてはまる方

n = 713（複数回答）

	件数	割合 (%)
1. 介護が必要な60歳以上の方	65	9.1
2. 高校生以下の子ども	144	20.2
3. 障がいのある方	54	7.6
無回答	475	66.6

2 現在、あなたがお住まいの住環境についておたずねします

【問6】 現在、あなたがお住まいの住宅の所有関係について、あてはまるものを1つ選んでください。

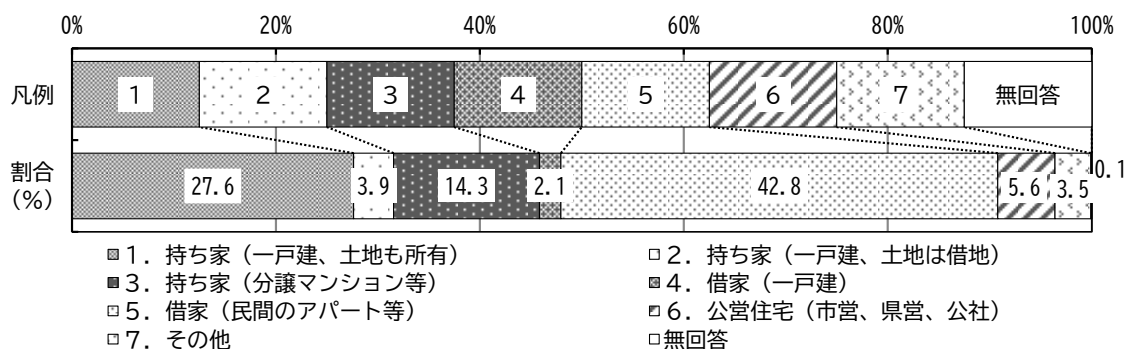
- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 持ち家（一戸建、土地も所有） | <input type="checkbox"/> 2. 持ち家（一戸建、土地は借地） |
| <input type="checkbox"/> 3. 持ち家（分譲マンション等） | <input type="checkbox"/> 4. 借家（一戸建） |
| <input type="checkbox"/> 5. 借家（民間のアパート等） | <input type="checkbox"/> 6. 公営住宅（市営、県営、公社） |
| <input type="checkbox"/> 7. その他【具体的に |] |

住宅の所有関係については、「5. 借家（民間アパート等）」が4割強（42.8%）と最も高く、次いで「1. 持ち家（一戸建、土地も所有）」（27.6%）、「3. 持ち家（分譲マンション等）」（14.3%）となっている。なお、「6. 公営住宅」は5.6%となっている。

「持ち家（選択肢1～3）」と「借家（選択肢4～6）」に分けてみると、「持ち家」は5割弱（45.9%）、「借家」は約5割（50.5%）となっている。

前回調査に比べ、持ち家からの回答が減少し、借家からの回答が増加している。また、令和5年住宅・土地統計調査において、持ち家率が35.5%、借家率が60.3%であったことを踏まえると、実際の所有関係に比べてアンケートでの持ち家の回答割合が高くなっている。

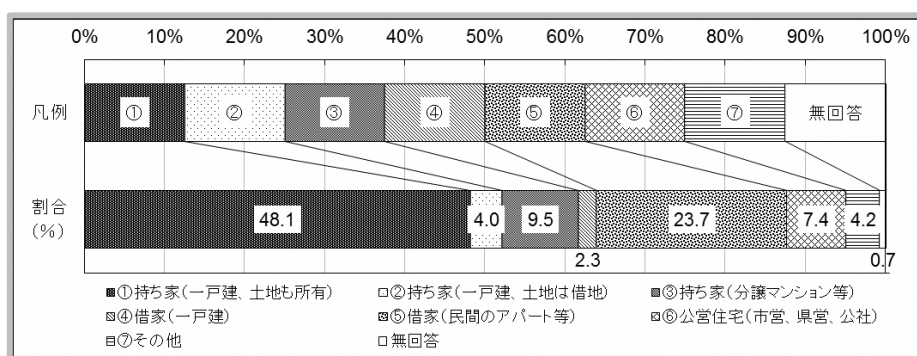
問6 住宅の所有関係（単一回答）



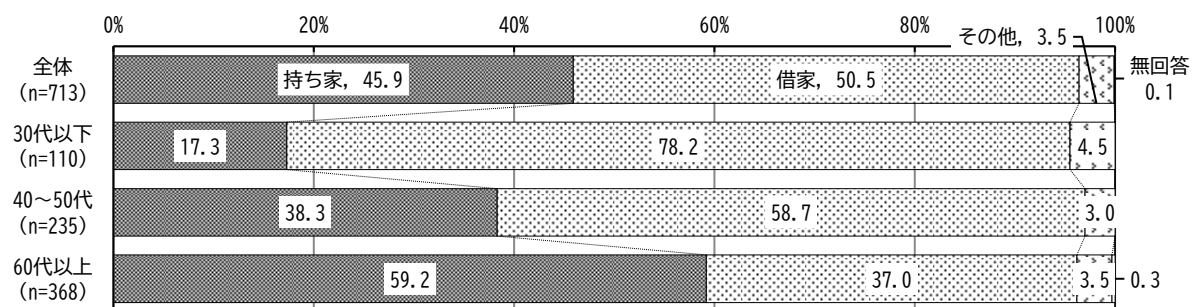
問6 お住まいの住宅の所有関係（単数回答）

	件数	割合 (%)
1. 持ち家（一戸建、土地も所有）	197	27.6
2. 持ち家（一戸建、土地は借地）	28	3.9
3. 持ち家（分譲マンション等）	102	14.3
4. 借家（一戸建）	15	2.1
5. 借家（民間のアパート等）	305	42.8
6. 公営住宅（市営、県営、公社）	40	5.6
7. その他	25	3.5
無回答	1	0.1
合計	713	100.0

前回調査（2019（令和元）年）



また、回答者の世帯主の年代別に所有関係をみると、若い年代ほど借家の割合が高く、年代が上がるにつれて持ち家の割合が高くなっている。



		問6 お住まいの住宅の所有関係				
		合計	持ち家 (選択肢 1+2+3)	賃貸 (選択肢 4+5+6)	7. その他	無回答
世帯主の年齢	上段：件数 下段：横%					
	全体	713 100.0	327 45.9	360 50.5	25 3.5	1 0.1
	30代以下	110 100.0	19 17.3	86 78.2	5 4.5	-
	40～50代	235 100.0	90 38.3	138 58.7	7 3.0	-
	60代以上	368 100.0	218 59.2	136 37.0	13 3.5	1 0.3
	無回答	-	-	-	-	-

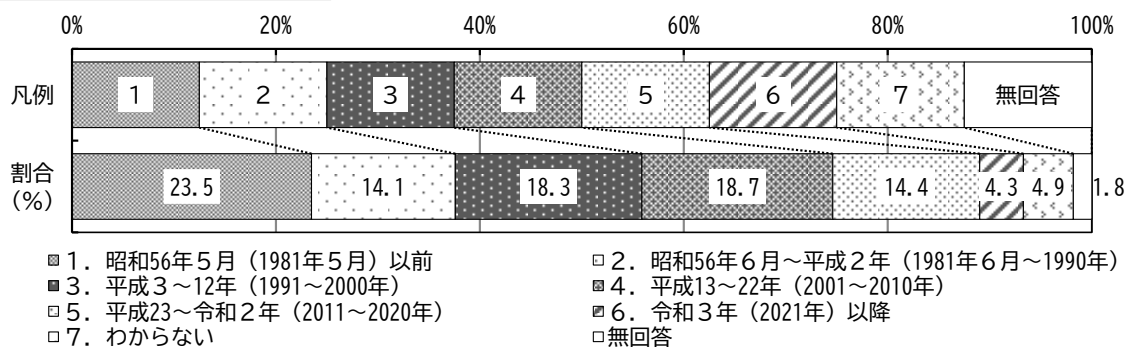
問6で「1～3. 持ち家」と答えた方全てにおたずねします

〔問7〕現在、あなたがお住まいの住宅の、建築時期はいつ頃ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 昭和56年5月（1981年5月）以前 | <input type="checkbox"/> 2. 昭和56年6月～平成2年（1981年6月～1990年） |
| <input type="checkbox"/> 3. 平成3～12年（1991～2000年） | <input type="checkbox"/> 4. 平成13～22年（2001～2010年） |
| <input type="checkbox"/> 5. 平成23～令和2年（2011～2020年） | <input type="checkbox"/> 6. 令和3年（2021年）以降 |
| <input type="checkbox"/> 7. わからない | |

持ち家（問6選択肢1～3）との回答者327人に対し、持ち家の建築時期を尋ねたところ、新耐震基準以前である「1. 昭和56年5月以前」が2割強（23.5%）と最も高く、次いで「4. 平成13～22年」（18.7%）、「3. 平成3～12年」（18.3%）となっている。

問7 持ち家の建築時期（n=327）（単一回答）



問7 お住まいの住宅の、建築時期（単数回答）

	件数	割合 (%)
1. 昭和56年5月（1981年5月）以前	77	23.5
2. 昭和56年6月～平成2年（1981年6月～1990年）	46	14.1
3. 平成3～12年（1991～2000年）	60	18.3
4. 平成13～22年（2001～2010年）	61	18.7
5. 平成23～令和2年（2011～2020年）	47	14.4
6. 令和3年（2021年）以降	14	4.3
7. わからない	16	4.9
無回答	6	1.8
合計	327	100.0

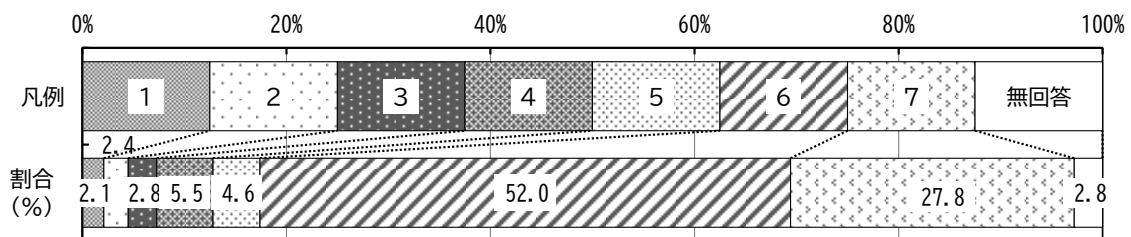
問6で「1～3. 持ち家」と答えた方全てにおたずねします

〔問8〕 現在、あなたがお住まいの住宅の、耐震改修を行った時期はいつ頃ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 昭和56年6月～平成2年（1981年6月～1990年） | <input type="checkbox"/> 2. 平成3～12年（1991～2000年） |
| <input type="checkbox"/> 3. 平成13～22年（2001～2010年） | <input type="checkbox"/> 4. 平成23～令和2年（2011～2020年） |
| <input type="checkbox"/> 5. 令和3年（2021年）以降 | <input type="checkbox"/> 6. 改修を行っていない |
| <input type="checkbox"/> 7. わからない | |

持ち家との回答者 327 人に対し、持ち家の耐震改修の時期を尋ねたところ、「6. 改修を行っていない」が5割強（52.0%）、次いで「7. 分からない」が3割弱（27.8%）となっている。

問8 住宅の耐震改修を行った時期（n=327）（単一回答）



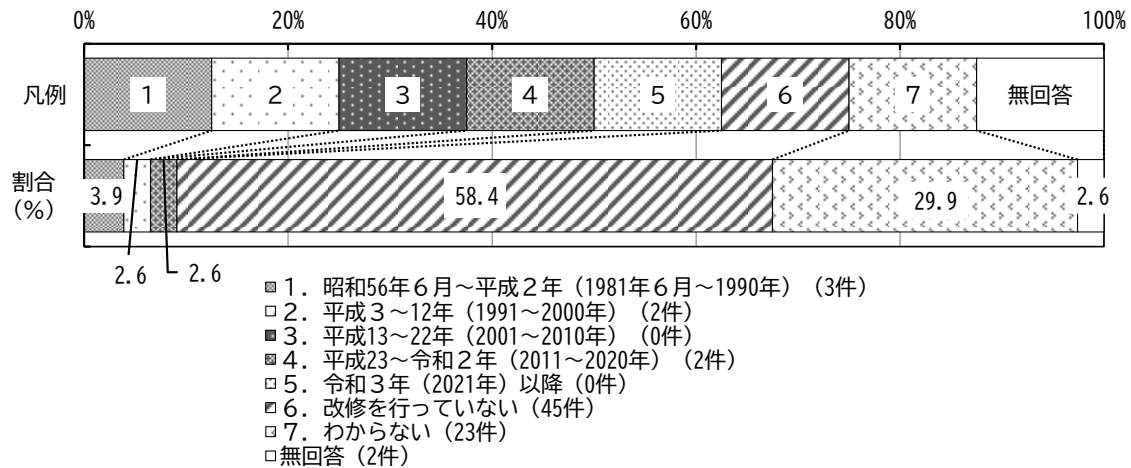
- | | |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 昭和56年6月～平成2年（1981年6月～1990年） | <input type="checkbox"/> 2. 平成3～12年（1991～2000年） |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 平成13～22年（2001～2010年） | <input checked="" type="checkbox"/> 4. 平成23～令和2年（2011～2020年） |
| <input type="checkbox"/> 5. 令和3年（2021年）以降 | <input type="checkbox"/> 6. 改修を行っていない |
| <input type="checkbox"/> 7. わからない | <input type="checkbox"/> 無回答 |

問8 お住まいの住宅の、耐震改修を行った時期（単数回答）

	件数	割合 (%)
1. 昭和56年6月～平成2年（1981年6月～1990年）	7	2.1
2. 平成3～12年（1991～2000年）	8	2.4
3. 平成13～22年（2001～2010年）	9	2.8
4. 平成23～令和2年（2011～2020年）	18	5.5
5. 令和3年（2021年）以降	15	4.6
6. 改修を行っていない	170	52.0
7. わからない	91	27.8
無回答	9	2.8
合計	327	100.0

なお、新耐震基準以前である「昭和56年5月以前」との回答者（77人）に絞ってみると、「6. 改修を行っていない」が6割弱（58.4%、45件）と過半数を占め、次いで「7. わからない」が約3割（29.9%、23件）となっている。

問8 住宅の耐震改修を行った時期（昭和56年5月以前の住宅）（n=77）（単一回答）



問8 住宅の耐震改修を行った時期（昭和56年5月以前の住宅）（単数回答）

	件数	割合 (%)
1. 昭和56年6月～平成2年（1981年6月～1990年）	3	3.9
2. 平成3～12年（1991～2000年）	2	2.6
3. 平成13～22年（2001～2010年）	0	0.0
4. 平成23～令和2年（2011～2020年）	2	2.6
5. 令和3年（2021年）以降	0	0.0
6. 改修を行っていない	45	58.4
7. わからない	23	29.9
無回答	2	2.6
合計	77	100.0

【問9】あなたが現在お住まいの住宅についての満足度と、今後住宅を選ぶ際（住宅取得や住み替え等）における重要度について、各項目に1つずつ、数字に○を付けて回答してください。

現在の満足度	満足 / やや満足 / やや不満 / 不満 / ない・わからない
1. 価格（家賃または購入額）	2. 広さ、間取り
3. 建物の外観、デザイン	4. 日当たり、風通し
5. 駐車場	6. バリアフリー（手すり設置等）
7. 省エネ設備（太陽光発電等）	8. 住宅の省エネ性能（断熱性等）
9. 住宅の遮音性	10. 災害時の安全性（地震・台風・火災等）
11. 住宅の防犯性	12. 建物の老朽度
13. IoT活用	14. リモートワーク環境
15. 宅配ボックスの設置	16. 子どもの転落対策（柵の設置等）

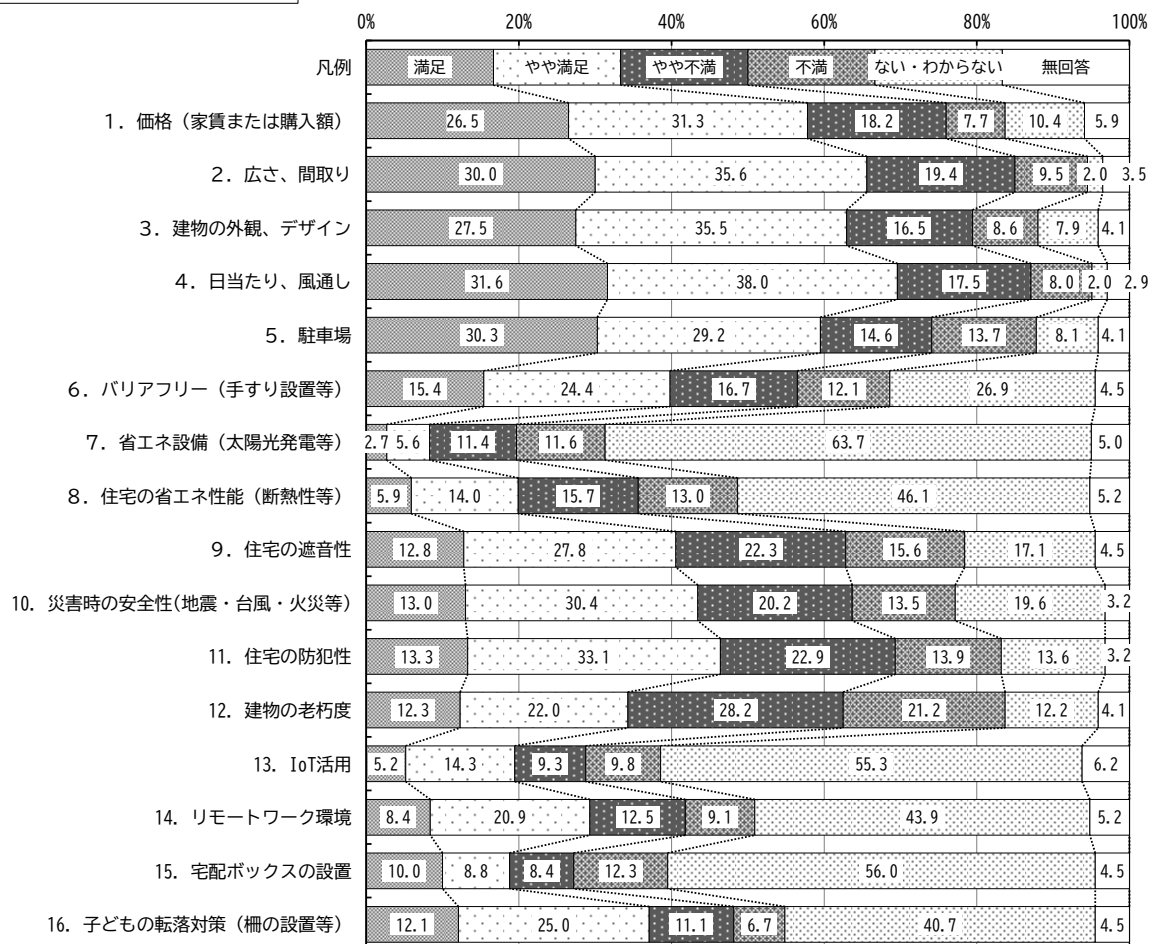
<現在の満足度>

現在住んでいる住宅の満足度をみると、『満足側（満足＋やや満足）』の割合が高いのは、「4. 日当たり、風通し」（69.6%）、「2. 広さ、間取り」（65.6%）、「3. 建物の外観、デザイン」（63.0%）などとなっている。

一方で『不満側（やや不満＋不満）』の割合が高いのは、「12. 建物の老朽度」（49.4%）、「9. 住宅の遮音性」（37.9%）、「11. 住宅の防犯性」（36.8%）などとなっている。

このことから、住空間に対する満足度は高い一方で、老朽度や性能等には不満があるものと推察される。

問9 お住まいの住宅についての満足度



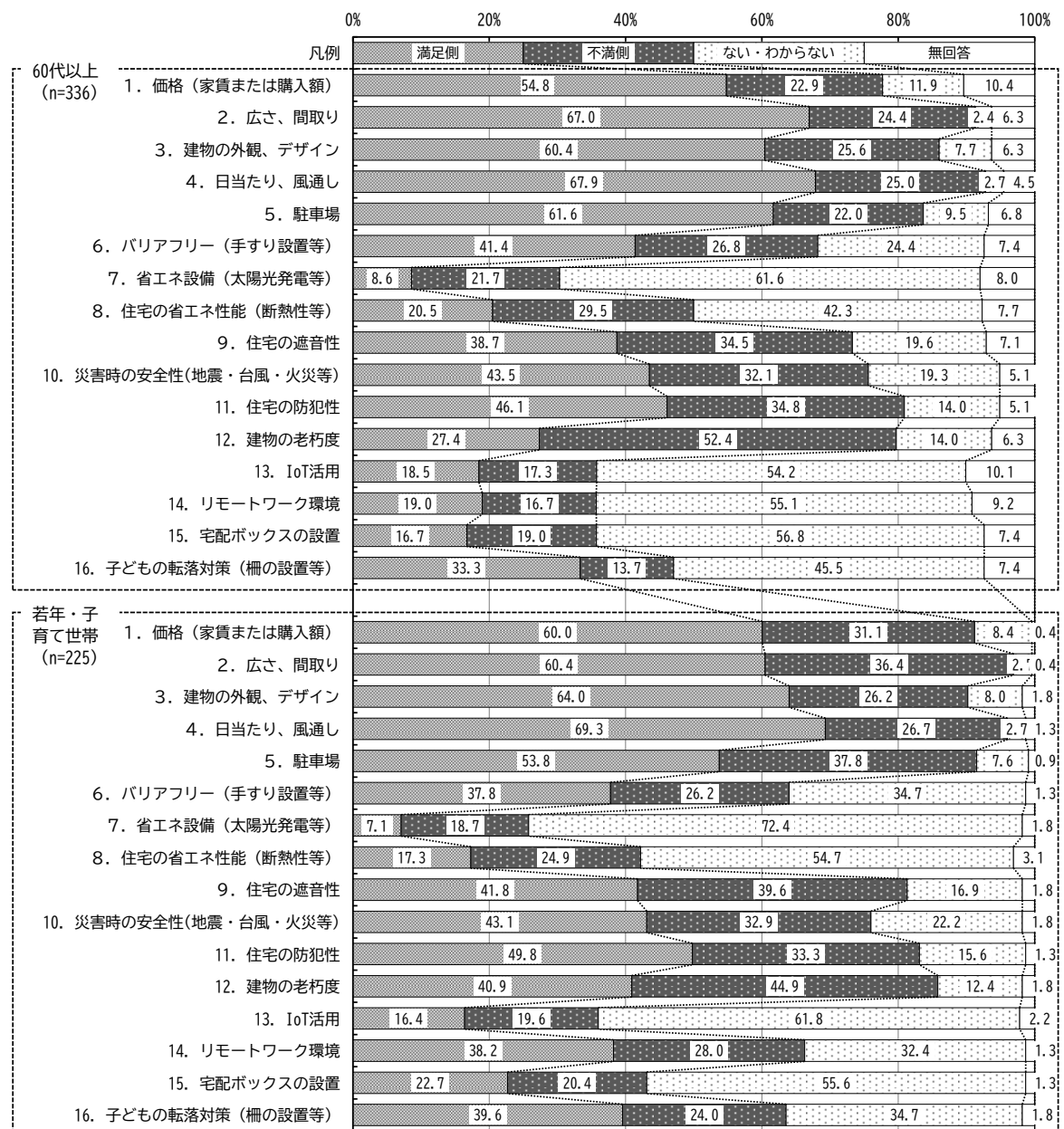
問9 お住いの住宅についての満足度

(単数回答)

上段：件数 下段：横%	合計	満足	やや満足	やや不満	不満	ない・わからない	無回答
1. 価格（家賃または購入額）	713 100.0	189 26.5	223 31.3	130 18.2	55 7.7	74 10.4	42 5.9
2. 広さ、間取り	713 100.0	214 30.0	254 35.6	138 19.4	68 9.5	14 2.0	25 3.5
3. 建物の外観、デザイン	713 100.0	196 27.5	253 35.5	118 16.5	61 8.6	56 7.9	29 4.1
4. 日当たり、風通し	713 100.0	225 31.6	271 38.0	125 17.5	57 8.0	14 2.0	21 2.9
5. 駐車場	713 100.0	216 30.3	208 29.2	104 14.6	98 13.7	58 8.1	29 4.1
6. バリアフリー（手すり設置等）	713 100.0	110 15.4	174 24.4	119 16.7	86 12.1	192 26.9	32 4.5
7. 省エネ設備（太陽光発電等）	713 100.0	19 2.7	40 5.6	81 11.4	83 11.6	454 63.7	36 5.0
8. 住宅の省エネ性能（断熱性等）	713 100.0	42 5.9	100 14.0	112 15.7	93 13.0	329 46.1	37 5.2
9. 住宅の遮音性	713 100.0	91 12.8	198 27.8	159 22.3	111 15.6	122 17.1	32 4.5
10. 災害時の安全性(地震・台風・火災等)	713 100.0	93 13.0	217 30.4	144 20.2	96 13.5	140 19.6	23 3.2
11. 住宅の防犯性	713 100.0	95 13.3	236 33.1	163 22.9	99 13.9	97 13.6	23 3.2
12. 建物の老朽度	713 100.0	88 12.3	157 22.0	201 28.2	151 21.2	87 12.2	29 4.1
13. IoT活用	713 100.0	37 5.2	102 14.3	66 9.3	70 9.8	394 55.3	44 6.2
14. リモートワーク環境	713 100.0	60 8.4	149 20.9	89 12.5	65 9.1	313 43.9	37 5.2
15. 宅配ボックスの設置	713 100.0	71 10.0	63 8.8	60 8.4	88 12.3	399 56.0	32 4.5
16. 子どもの転落対策（柵の設置等）	713 100.0	86 12.1	178 25.0	79 11.1	48 6.7	290 40.7	32 4.5

60代以上と若者・子育て世帯とで比較すると、「12. 建物の老朽度」の不満側では、若者・子育て世帯（44.9%）よりも60代以上（52.4%）のほうが7.5ポイント高くなっている。また、「5. 駐車場」の不満側では、60代以上（22.0%）よりも若者・子育て世帯（37.8%）のほうが15.8ポイント高くなっている。

問9 お住いの住宅についての満足度（60代以上、若者・子育て世帯）



問9 お住まいの住宅についての満足度 【属性別】

(単数回答)

	合計		満足側 (満足+やや満足)		不満側 (やや不満+不満)		ない・わからない		無回答	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
60代以上										
1. 価格（家賃または購入額）	336	100.0	184	54.8	77	22.9	40	11.9	35	10.4
2. 広さ、間取り	336	100.0	225	67.0	82	24.4	8	2.4	21	6.3
3. 建物の外観、デザイン	336	100.0	203	60.4	86	25.6	26	7.7	21	6.3
4. 日当たり、風通し	336	100.0	228	67.9	84	25.0	9	2.7	15	4.5
5. 駐車場	336	100.0	207	61.6	74	22.0	32	9.5	23	6.8
6. バリアフリー（手すり設置等）	336	100.0	139	41.4	90	26.8	82	24.4	25	7.4
7. 省エネ設備（太陽光発電等）	336	100.0	29	8.6	73	21.7	207	61.6	27	8.0
8. 住宅の省エネ性能（断熱性等）	336	100.0	69	20.5	99	29.5	142	42.3	26	7.7
9. 住宅の遮音性	336	100.0	130	38.7	116	34.5	66	19.6	24	7.1
10. 災害時の安全性（地震・台風・火災等）	336	100.0	146	43.5	108	32.1	65	19.3	17	5.1
11. 住宅の防犯性	336	100.0	155	46.1	117	34.8	47	14.0	17	5.1
12. 建物の老朽度	336	100.0	92	27.4	176	52.4	47	14.0	21	6.3
13. IoT活用	336	100.0	62	18.5	58	17.3	182	54.2	34	10.1
14. リモートワーク環境	336	100.0	64	19.0	56	16.7	185	55.1	31	9.2
15. 宅配ボックスの設置	336	100.0	56	16.7	64	19.0	191	56.8	25	7.4
16. 子どもの転落対策（柵の設置等）	336	100.0	112	33.3	46	13.7	153	45.5	25	7.4
若年・子育て世帯										
1. 価格（家賃または購入額）	225	100.0	135	60.0	70	31.1	19	8.4	1	0.4
2. 広さ、間取り	225	100.0	136	60.4	82	36.4	6	2.7	1	0.4
3. 建物の外観、デザイン	225	100.0	144	64.0	59	26.2	18	8.0	4	1.8
4. 日当たり、風通し	225	100.0	156	69.3	60	26.7	6	2.7	3	1.3
5. 駐車場	225	100.0	121	53.8	85	37.8	17	7.6	2	0.9
6. バリアフリー（手すり設置等）	225	100.0	85	37.8	59	26.2	78	34.7	3	1.3
7. 省エネ設備（太陽光発電等）	225	100.0	16	7.1	42	18.7	163	72.4	4	1.8
8. 住宅の省エネ性能（断熱性等）	225	100.0	39	17.3	56	24.9	123	54.7	7	3.1
9. 住宅の遮音性	225	100.0	94	41.8	89	39.6	38	16.9	4	1.8
10. 災害時の安全性（地震・台風・火災等）	225	100.0	97	43.1	74	32.9	50	22.2	4	1.8
11. 住宅の防犯性	225	100.0	112	49.8	75	33.3	35	15.6	3	1.3
12. 建物の老朽度	225	100.0	92	40.9	101	44.9	28	12.4	4	1.8
13. IoT活用	225	100.0	37	16.4	44	19.6	139	61.8	5	2.2
14. リモートワーク環境	225	100.0	86	38.2	63	28.0	73	32.4	3	1.3
15. 宅配ボックスの設置	225	100.0	51	22.7	46	20.4	125	55.6	3	1.3
16. 子どもの転落対策（柵の設置等）	225	100.0	89	39.6	54	24.0	78	34.7	4	1.8

前回調査と比べて大きな差はほとんど見られないが、満足度は「6. バリアフリー」で約9ポイント高くなった。一方で、「8. 住宅の省エネ性能」では約8ポイント低くなった。

住まいの満足度（前回調査との比較）

※「ない・わからない」、「無回答」を除いて再集計した

※「10. 災害時の安全性（地震・台風・火災等）」の比較については、前回調査の「地震時の安全性」、「台風時の安全性」、「火災時の安全性」の3項目を合算した割合を用いた

住まいの満足度（件数）		満足+やや満足	やや不満+不満	合計
1. 価格（家賃または購入額）	前回	266	121	387
	今回	412	185	597
2. 広さ、間取り	前回	274	137	411
	今回	468	206	674
3. 建物の外観、デザイン	前回	278	131	409
	今回	449	179	628
4. 日当たり、風通し	前回	292	121	413
	今回	496	182	678
5. 駐車場	前回	256	146	402
	今回	424	202	626
6. バリアフリー（手すり設置等）	前回	201	209	410
	今回	284	205	489
7. 省エネ設備（太陽光発電等）	前回	109	279	388
	今回	59	164	223
8. 住宅の省エネ性能（断熱性等）	前回	200	207	407
	今回	142	205	347
9. 住宅の遮音性 満足度	前回	213	193	406
	今回	289	270	559
10. 災害時の安全性（地震・台風・火災等）	前回	694	530	1,224
	今回	310	240	550
11. 住宅の防犯性	前回	228	184	412
	今回	331	262	593
12. 建物の老朽度	前回	169	243	412
	今回	245	352	597
13. IoT活用	前回	-	-	-
	今回	139	136	275
14. リモートワーク環境	前回	-	-	-
	今回	209	154	363
15. 宅配ボックスの設置	前回	-	-	-
	今回	134	148	282
16. 子どもの転落対策（柵の設置等）	前回	-	-	-
	今回	264	127	391

住まいの満足度（割合）		満足+やや満足	やや不満+不満	合計
1. 価格（家賃または購入額）	前回	68.7	31.3	100.0
	今回	69.0	31.0	100.0
2. 広さ、間取り	前回	66.7	33.3	100.0
	今回	69.4	30.6	100.0
3. 建物の外観、デザイン	前回	68.0	32.0	100.0
	今回	71.5	28.5	100.0
4. 日当たり、風通し	前回	70.7	29.3	100.0
	今回	73.2	26.8	100.0
5. 駐車場	前回	63.7	36.3	100.0
	今回	67.7	32.3	100.0
6. バリアフリー（手すり設置等）	前回	49.0	51.0	100.0
	今回	58.1	41.9	100.0
7. 省エネ設備（太陽光発電等）	前回	28.1	71.9	100.0
	今回	26.5	73.5	100.0
8. 住宅の省エネ性能（断熱性等）	前回	49.1	50.9	100.0
	今回	40.9	59.1	100.0
9. 住宅の遮音性 満足度	前回	52.5	47.5	100.0
	今回	51.7	48.3	100.0
10. 災害時の安全性（地震・台風・火災等）	前回	56.7	43.3	100.0
	今回	56.4	43.6	100.0
11. 住宅の防犯性	前回	55.3	44.7	100.0
	今回	55.8	44.2	100.0
12. 建物の老朽度	前回	41.0	59.0	100.0
	今回	41.0	59.0	100.0
13. IoT活用	前回	-	-	-
	今回	50.5	49.5	100.0
14. リモートワーク環境	前回	-	-	-
	今回	57.6	42.4	100.0
15. 宅配ボックスの設置	前回	-	-	-
	今回	47.5	52.5	100.0
16. 子どもの転落対策（柵の設置等）	前回	-	-	-
	今回	67.5	32.5	100.0

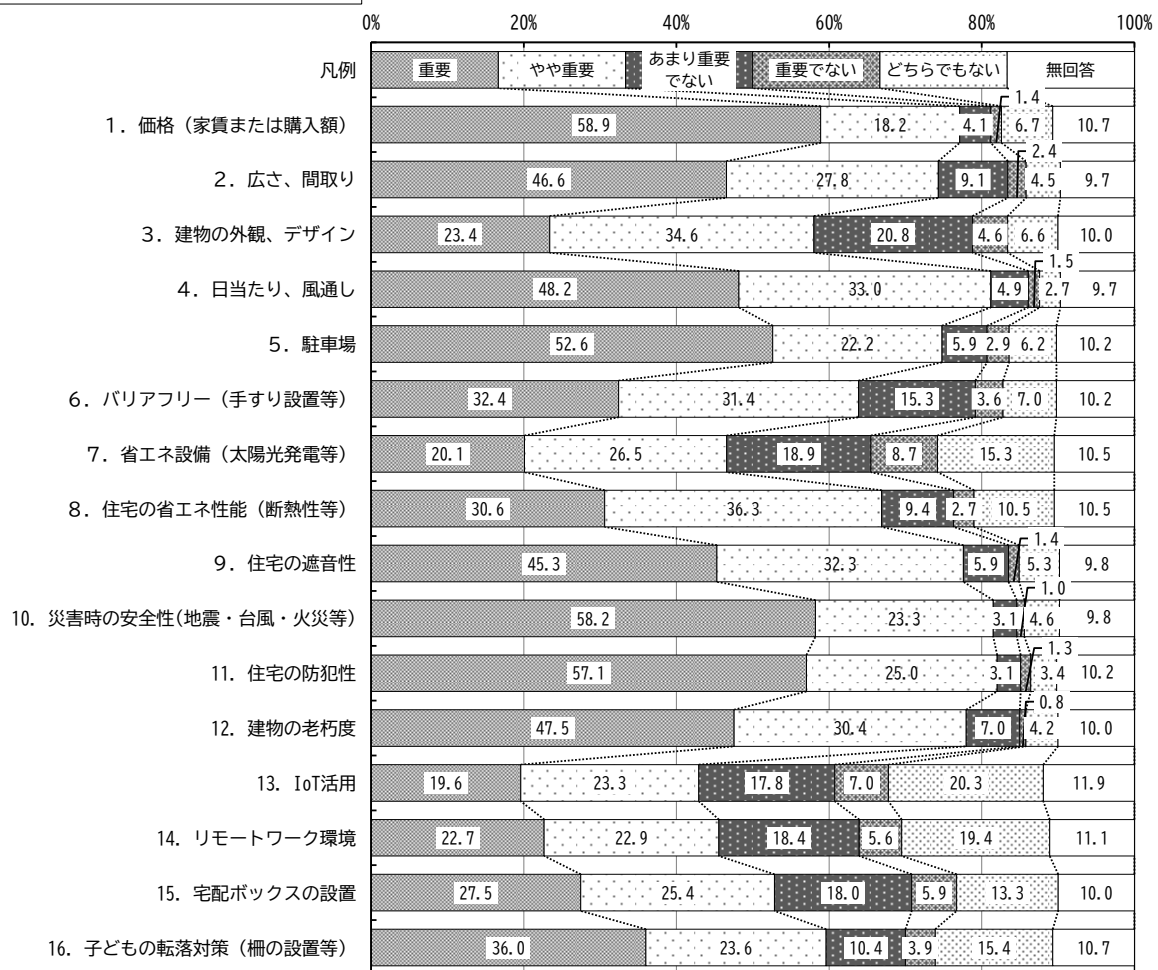
今後の重要度	重要 / やや重要 / あまり重要でない / 重要でない / どちらでもない
1. 価格（家賃または購入額）	2. 広さ、間取り
3. 建物の外観、デザイン	4. 日当たり、風通し
5. 駐車場	6. バリアフリー（手すり設置等）
7. 省エネ設備（太陽光発電等）	8. 住宅の省エネ性能（断熱性等）
9. 住宅の遮音性	10. 災害時の安全性（地震・台風・火災等）
11. 住宅の防犯性	12. 建物の老朽度
13. IoT活用	14. リモートワーク環境
15. 宅配ボックスの設置	16. 子どもの転落対策（柵の設置等）

<今後の重要度>

今後住宅を選ぶ際の重要度をみると、『重要側（重要＋やや重要）』の割合が高いのは、「11. 住宅の防犯性」（82.1%）、「10. 災害時の安全性（地震・台風・火災等）」（81.5%）、「4. 日当たり、風通し」（81.2%）などとなっている。

一方で『重要でない側（あまり重要でない＋重要でない）』の割合が高いのは、「7. 省エネ設備（太陽光発電等）」（27.6%）、「3. 建物の外観、デザイン」（25.4%）、「13. IoT活用」（24.8%）などとなっている。

問9 住宅取得や住み替え等における重要度



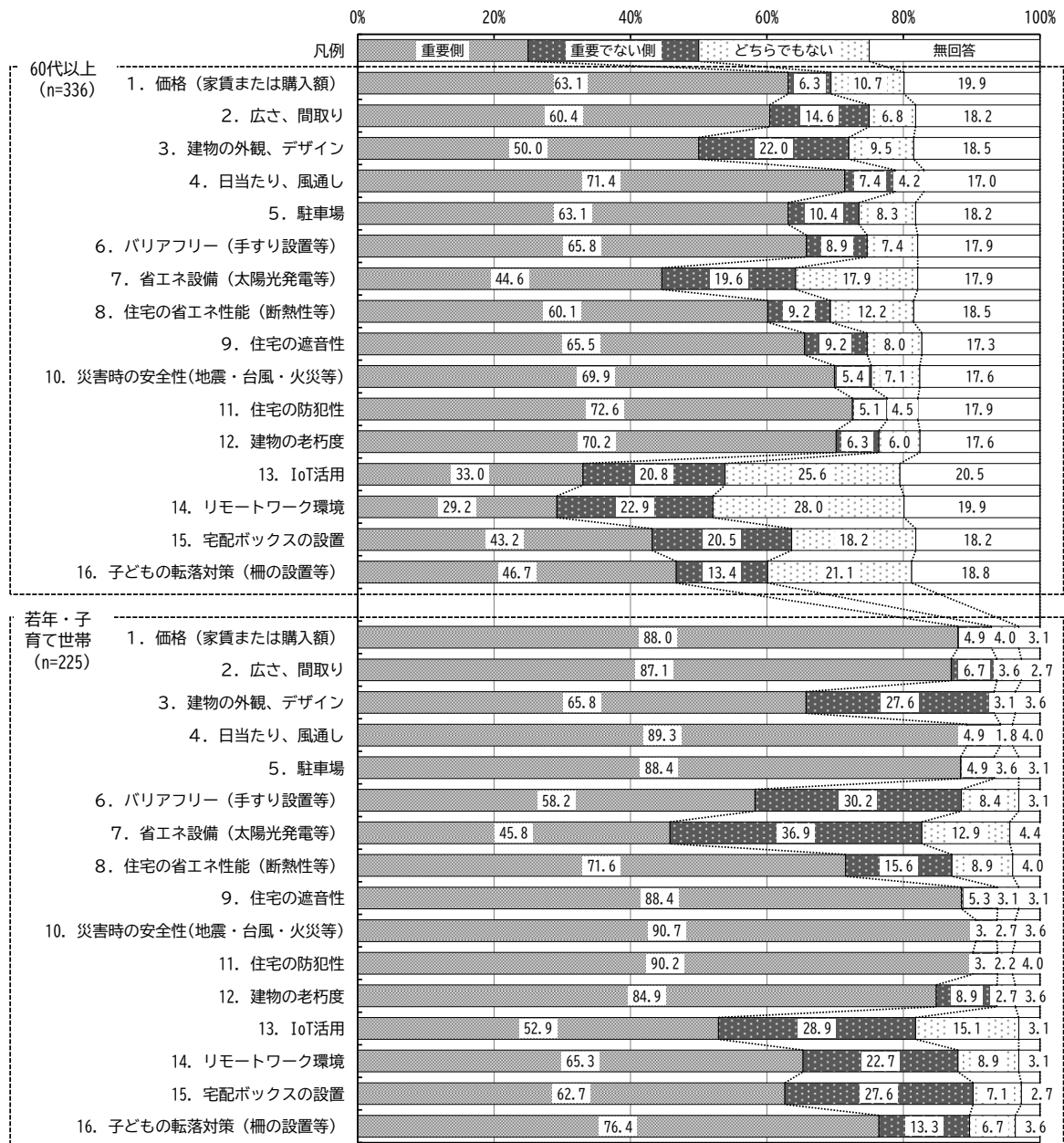
問9 住宅取得や住み替え等における重要度

(単数回答)

上段：件数 下段：横%	合計	重要	やや重要	あまり重要 でない	重要でない	どちらでも ない	無回答
1. 価格（家賃または購入額）	713 100.0	420 58.9	130 18.2	29 4.1	10 1.4	48 6.7	76 10.7
2. 広さ、間取り	713 100.0	332 46.6	198 27.8	65 9.1	17 2.4	32 4.5	69 9.7
3. 建物の外観、デザイン	713 100.0	167 23.4	247 34.6	148 20.8	33 4.6	47 6.6	71 10.0
4. 日当たり、風通し	713 100.0	344 48.2	235 33.0	35 4.9	11 1.5	19 2.7	69 9.7
5. 駐車場	713 100.0	375 52.6	158 22.2	42 5.9	21 2.9	44 6.2	73 10.2
6. バリアフリー（手すり設置等）	713 100.0	231 32.4	224 31.4	109 15.3	26 3.6	50 7.0	73 10.2
7. 省エネ設備（太陽光発電等）	713 100.0	143 20.1	189 26.5	135 18.9	62 8.7	109 15.3	75 10.5
8. 住宅の省エネ性能（断熱性等）	713 100.0	218 30.6	259 36.3	67 9.4	19 2.7	75 10.5	75 10.5
9. 住宅の遮音性 満足度	713 100.0	323 45.3	230 32.3	42 5.9	10 1.4	38 5.3	70 9.8
10. 災害時の安全性（地震・台風・火災等）	713 100.0	415 58.2	166 23.3	22 3.1	7 1.0	33 4.6	70 9.8
11. 住宅の防犯性	713 100.0	407 57.1	178 25.0	22 3.1	9 1.3	24 3.4	73 10.2
12. 建物の老朽度	713 100.0	339 47.5	217 30.4	50 7.0	6 0.8	30 4.2	71 10.0
13. IoT活用	713 100.0	140 19.6	166 23.3	127 17.8	50 7.0	145 20.3	85 11.9
14. リモートワーク環境	713 100.0	162 22.7	163 22.9	131 18.4	40 5.6	138 19.4	79 11.1
15. 宅配ボックスの設置	713 100.0	196 27.5	181 25.4	128 18.0	42 5.9	95 13.3	71 10.0
16. 子どもの転落対策（柵の設置等）	713 100.0	257 36.0	168 23.6	74 10.4	28 3.9	110 15.4	76 10.7

60代以上と若者・子育て世帯を比較すると、「6. バリアフリー」では、60代以上のほうが重視する傾向がみられ、「2. 広さ、間取り」では若者・子育て世帯のほうが重視する傾向がみられる。

問9 住宅取得や住み替え等における重要度（60代以上、若者・子育て世帯）



問9 住宅取得や住み替え等における重要度 【属性別】

（単数回答）

	合計		重要側 （重要+やや重要）		重要でない側 （あまり重要でない+重要でない）		どちらでもない		無回答	
	件数	割合（％）	件数	割合（％）	件数	割合（％）	件数	割合（％）	件数	割合（％）
60代以上										
1. 価格（家賃または購入額）	336	100.0	212	63.1	21	6.3	36	10.7	67	19.9
2. 広さ、間取り	336	100.0	203	60.4	49	14.6	23	6.8	61	18.2
3. 建物の外観、デザイン	336	100.0	168	50.0	74	22.0	32	9.5	62	18.5
4. 日当たり、風通し	336	100.0	240	71.4	25	7.4	14	4.2	57	17.0
5. 駐車場	336	100.0	212	63.1	35	10.4	28	8.3	61	18.2
6. バリアフリー（手すり設置等）	336	100.0	221	65.8	30	8.9	25	7.4	60	17.9
7. 省エネ設備（太陽光発電等）	336	100.0	150	44.6	66	19.6	60	17.9	60	17.9
8. 住宅の省エネ性能（断熱性等）	336	100.0	202	60.1	31	9.2	41	12.2	62	18.5
9. 住宅の遮音性	336	100.0	220	65.5	31	9.2	27	8.0	58	17.3
10. 災害時の安全性（地震・台風・火災等）	336	100.0	235	69.9	18	5.4	24	7.1	59	17.6
11. 住宅の防犯性	336	100.0	244	72.6	17	5.1	15	4.5	60	17.9
12. 建物の老朽度	336	100.0	236	70.2	21	6.3	20	6.0	59	17.6
13. IoT活用	336	100.0	111	33.0	70	20.8	86	25.6	69	20.5
14. リモートワーク環境	336	100.0	98	29.2	77	22.9	94	28.0	67	19.9
15. 宅配ボックスの設置	336	100.0	145	43.2	69	20.5	61	18.2	61	18.2
16. 子どもの転落対策（柵の設置等）	336	100.0	157	46.7	45	13.4	71	21.1	63	18.8
若年・子育て世帯										
1. 価格（家賃または購入額）	225	100.0	198	88.0	11	4.9	9	4.0	7	3.1
2. 広さ、間取り	225	100.0	196	87.1	15	6.7	8	3.6	6	2.7
3. 建物の外観、デザイン	225	100.0	148	65.8	62	27.6	7	3.1	8	3.6
4. 日当たり、風通し	225	100.0	201	89.3	11	4.9	4	1.8	9	4.0
5. 駐車場	225	100.0	199	88.4	11	4.9	8	3.6	7	3.1
6. バリアフリー（手すり設置等）	225	100.0	131	58.2	68	30.2	19	8.4	7	3.1
7. 省エネ設備（太陽光発電等）	225	100.0	103	45.8	83	36.9	29	12.9	10	4.4
8. 住宅の省エネ性能（断熱性等）	225	100.0	161	71.6	35	15.6	20	8.9	9	4.0
9. 住宅の遮音性	225	100.0	199	88.4	12	5.3	7	3.1	7	3.1
10. 災害時の安全性（地震・台風・火災等）	225	100.0	204	90.7	7	3.1	6	2.7	8	3.6
11. 住宅の防犯性	225	100.0	203	90.2	8	3.6	5	2.2	9	4.0
12. 建物の老朽度	225	100.0	191	84.9	20	8.9	6	2.7	8	3.6
13. IoT活用	225	100.0	119	52.9	65	28.9	34	15.1	7	3.1
14. リモートワーク環境	225	100.0	147	65.3	51	22.7	20	8.9	7	3.1
15. 宅配ボックスの設置	225	100.0	141	62.7	62	27.6	16	7.1	6	2.7
16. 子どもの転落対策（柵の設置等）	225	100.0	172	76.4	30	13.3	15	6.7	8	3.6

前回調査と比べて大きな差はほとんど見られないが、重要度は「7. 省エネ設備」で約9ポイント低くなった。

住宅取得や住み替え等における重要度（前回調査との比較）

※「どちらでもない」、「無回答」を除いて再集計した

※「10. 災害時の安全性（地震・台風・火災等）」の比較については、前回調査の「地震時の安全性」、「台風時の安全性」、「火災時の安全性」の3項目を合算した割合を用いた

住宅取得や住み替え等における重要度（件数）		重要+やや重要	あまり重要でない+重要でない	合計	住宅取得や住み替え等における重要度（割合）		重要+やや重要	あまり重要でない+重要でない	合計
1. 価格（家賃または購入額）	前回 今回	330 550	37 39	367 589	1. 価格（家賃または購入額）	前回 今回	89.9 93.4	10.1 6.6	100.0 100.0
2. 広さ、間取り	前回 今回	325 530	53 82	378 612	2. 広さ、間取り	前回 今回	86.0 86.6	14.0 13.4	100.0 100.0
3. 建物の外観、デザイン	前回 今回	260 414	114 181	374 595	3. 建物の外観、デザイン	前回 今回	69.5 69.6	30.5 30.4	100.0 100.0
4. 日当たり、風通し	前回 今回	334 579	42 46	376 625	4. 日当たり、風通し	前回 今回	88.8 92.6	11.2 7.4	100.0 100.0
5. 駐車場	前回 今回	330 533	46 63	376 596	5. 駐車場	前回 今回	87.8 89.4	12.2 10.6	100.0 100.0
6. バリアフリー（手すり設置等）	前回 今回	322 455	59 135	381 590	6. バリアフリー（手すり設置等）	前回 今回	84.5 77.1	15.5 22.9	100.0 100.0
7. 省エネ設備（太陽光発電等）	前回 今回	271 332	105 197	376 529	7. 省エネ設備（太陽光発電等）	前回 今回	72.1 62.8	27.9 37.2	100.0 100.0
8. 住宅の省エネ性能（断熱性等）	前回 今回	337 477	41 86	378 563	8. 住宅の省エネ性能（断熱性等）	前回 今回	89.2 84.7	10.8 15.3	100.0 100.0
9. 住宅の遮音性 満足度	前回 今回	345 553	33 52	378 605	9. 住宅の遮音性 満足度	前回 今回	91.3 91.4	8.7 8.6	100.0 100.0
10. 災害時の安全性（地震・台風・火災等）	前回 今回	1,090 581	55 29	1,145 610	10. 災害時の安全性（地震・台風・火災等）	前回 今回	95.2 95.2	4.8 4.8	100.0 100.0
11. 住宅の防犯性	前回 今回	361 585	21 31	382 616	11. 住宅の防犯性	前回 今回	94.5 95.0	5.5 5.0	100.0 100.0
12. 建物の老朽度	前回 今回	362 556	18 56	380 612	12. 建物の老朽度	前回 今回	95.3 90.8	4.7 9.2	100.0 100.0
13. IoT活用	前回 今回	- 306	- 177	- 483	13. IoT活用	前回 今回	- 63.4	- 36.6	- 100.0
14. リモートワーク環境	前回 今回	- 325	- 171	- 496	14. リモートワーク環境	前回 今回	- 65.5	- 34.5	- 100.0
15. 宅配ボックスの設置	前回 今回	- 377	- 170	- 547	15. 宅配ボックスの設置	前回 今回	- 68.9	- 31.1	- 100.0
16. 子どもの転落対策（柵の設置等）	前回 今回	- 425	- 102	- 527	16. 子どもの転落対策（柵の設置等）	前回 今回	- 80.6	- 19.4	- 100.0

〔問10〕あなたが現在お住まいの住宅周辺の環境についての満足度と、今後住宅を選ぶ際（住宅取得や住み替え等）における重要度について、各項目に1つずつ、数字に○を付けて回答してください。

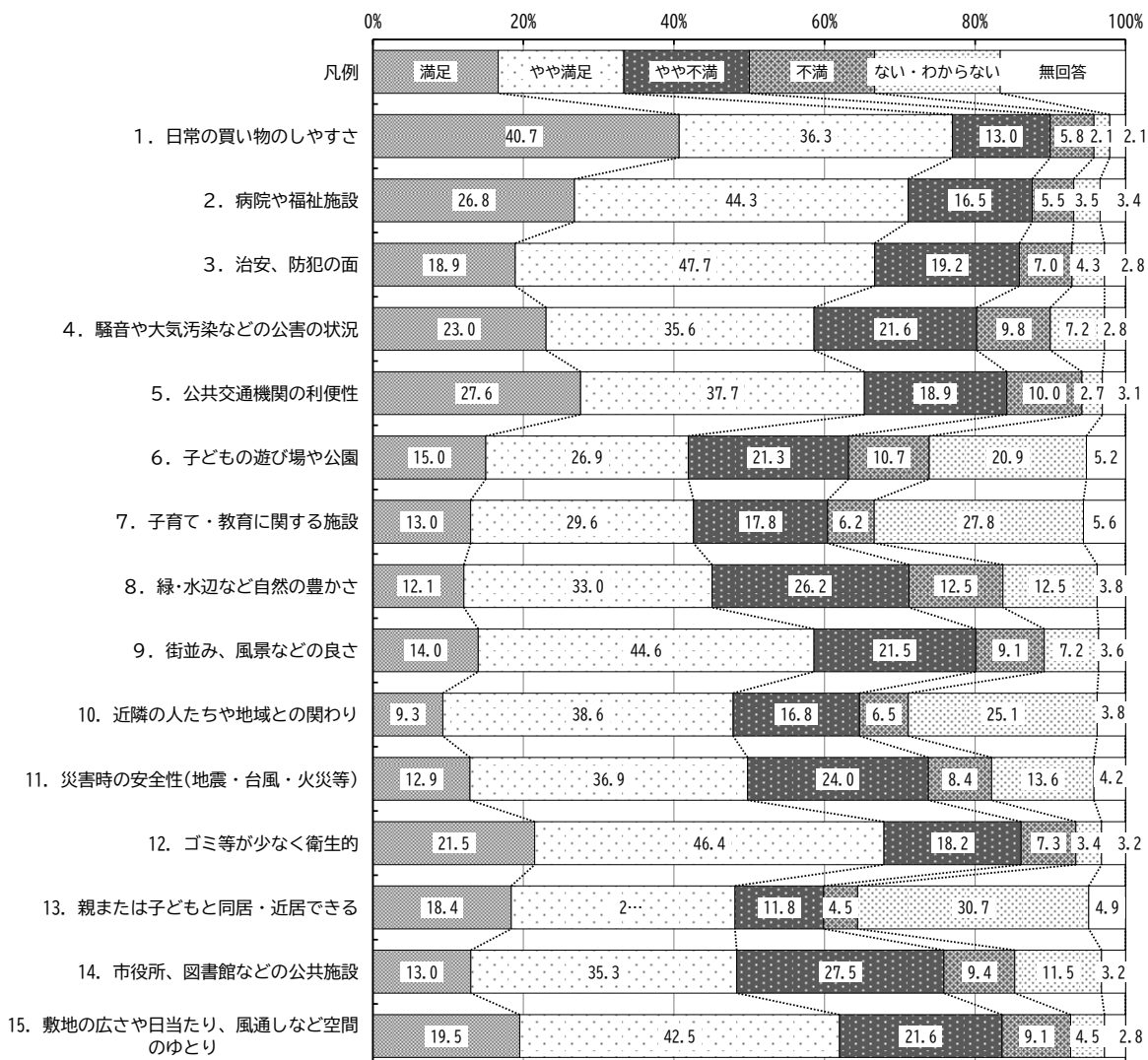
現在の満足度	満足 / やや満足 / やや不満 / 不満 / ない・わからない
1. 日常の買い物のしやすさ	2. 病院や福祉施設
3. 治安、防犯の面	4. 騒音や大気汚染などの公害の状況
5. 公共交通機関の利便性	6. 子どもの遊び場や公園
7. 子育て・教育に関する施設	8. 緑・水辺など自然の豊かさ
9. 街並み、風景などの良さ	10. 近隣の人たちや地域との関わり
11. 災害時の安全性(地震・台風・火災等)	12. ゴミ等が少なく衛生的
13. 親または子どもと同居・近居できる	14. 市役所、図書館などの公共施設
15. 敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり	

＜現在の満足度＞

現在の住まいの周辺環境の満足度をみると、『満足側（満足＋やや満足）』の割合が高いのは、「1. 日常の買い物のしやすさ」（77.0%）、「2. 病院や福祉施設」（71.1%）、「12. ゴミ等が少なく衛生的」（67.9%）などとなっている。

一方で『不満側（やや不満＋不満）』の割合が高いのは、「8. 緑・水辺など自然の豊かさ」（38.7%）、「14. 市役所、図書館などの公共施設」（36.9%）、「11. 災害時の安全性(地震・台風・火災等）」（32.4%）などとなっている。

問10 住宅周辺の環境についての満足度



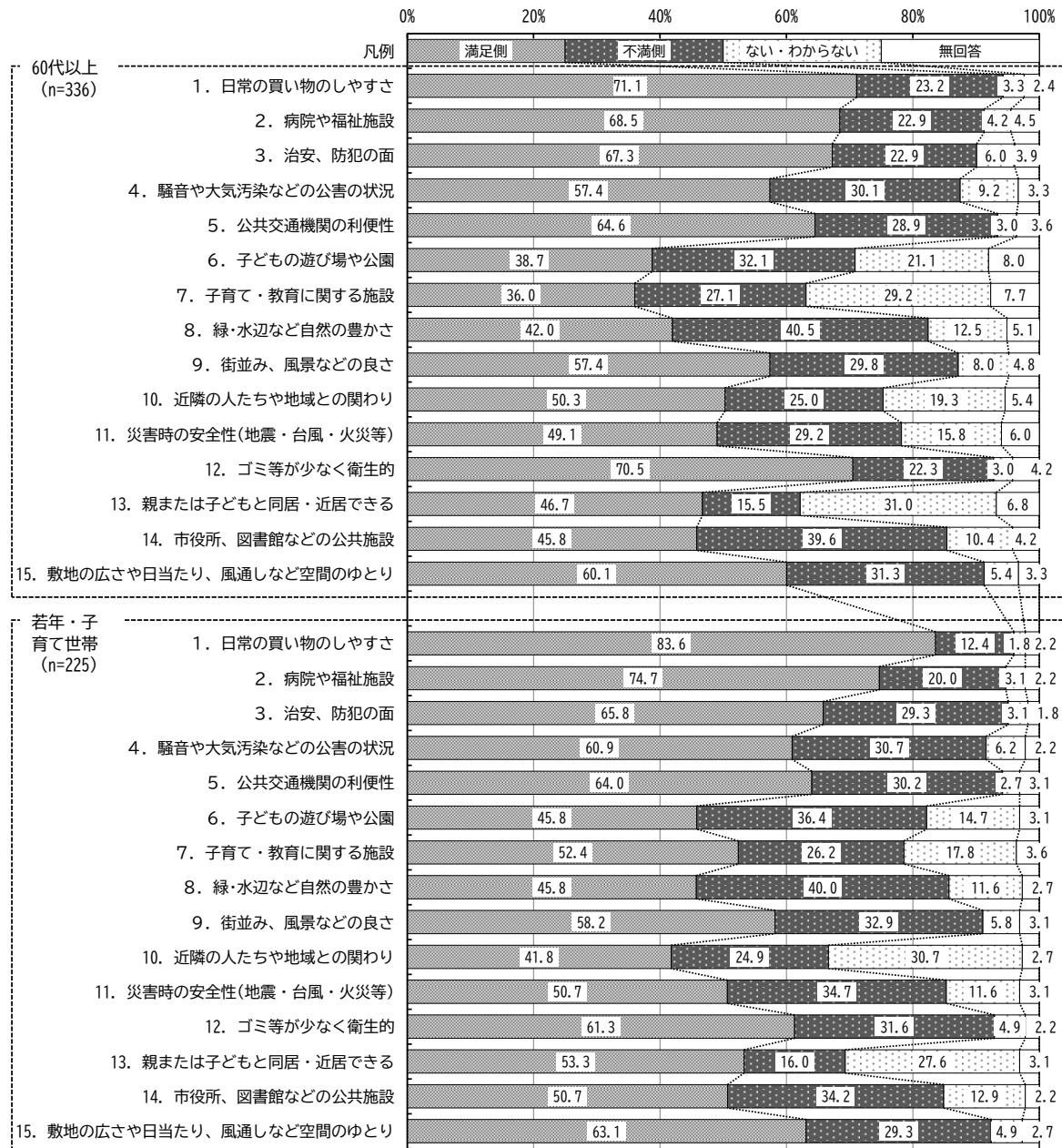
問10 住宅周辺の環境についての満足度

（単数回答）

上段：件数 下段：横%	合計	満足	やや満足	やや不満	不満	ない・わからない	無回答
1. 日常の買い物のしやすさ	713 100.0	290 40.7	259 36.3	93 13.0	41 5.8	15 2.1	15 2.1
2. 病院や福祉施設	713 100.0	191 26.8	316 44.3	118 16.5	39 5.5	25 3.5	24 3.4
3. 治安、防犯の面	713 100.0	135 18.9	340 47.7	137 19.2	50 7.0	31 4.3	20 2.8
4. 騒音や大気汚染などの公害の状況	713 100.0	164 23.0	254 35.6	154 21.6	70 9.8	51 7.2	20 2.8
5. 公共交通機関の利便性	713 100.0	197 27.6	269 37.7	135 18.9	71 10.0	19 2.7	22 3.1
6. 子どもの遊び場や公園	713 100.0	107 15.0	192 26.9	152 21.3	76 10.7	149 20.9	37 5.2
7. 子育て・教育に関する施設	713 100.0	93 13.0	211 29.6	127 17.8	44 6.2	198 27.8	40 5.6
8. 緑・水辺など自然の豊かさ	713 100.0	86 12.1	235 33.0	187 26.2	89 12.5	89 12.5	27 3.8
9. 街並み、風景などの良さ	713 100.0	100 14.0	318 44.6	153 21.5	65 9.1	51 7.2	26 3.6
10. 近隣の人たちや地域との関わり	713 100.0	66 9.3	275 38.6	120 16.8	46 6.5	179 25.1	27 3.8
11. 災害時の安全性(地震・台風・火災等)	713 100.0	92 12.9	263 36.9	171 24.0	60 8.4	97 13.6	30 4.2
12. ゴミ等が少なく衛生的	713 100.0	153 21.5	331 46.4	130 18.2	52 7.3	24 3.4	23 3.2
13. 親または子どもと同居・近居できる	713 100.0	131 18.4	212 29.7	84 11.8	32 4.5	219 30.7	35 4.9
14. 市役所、図書館などの公共施設	713 100.0	93 13.0	252 35.3	196 27.5	67 9.4	82 11.5	23 3.2
15. 敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり	713 100.0	139 19.5	303 42.5	154 21.6	65 9.1	32 4.5	20 2.8

60代以上と若者・子育て世帯とで比較すると、「1. 日常の買い物のしやすさ」の不満側では、若者・子育て世帯（12.4%）よりも60代以上（23.2%）のほうが10.8ポイント高くなっている。また、「12. ゴミ等が少なく衛生的」の不満側では、60代以上（22.3%）よりも若者・子育て世帯（31.6%）のほうが9.3ポイント高くなっている。

問10 住宅周辺の環境についての満足度（60代以上、若者・子育て世帯）



問10 住宅周辺の環境についての満足度 【属性別】

（単数回答）

	合計		満足側 （満足+やや満足）		不満側 （やや不満+不満）		ない・わからない		無回答	
	件数	割合（％）	件数	割合（％）	件数	割合（％）	件数	割合（％）	件数	割合（％）
60代以上										
1. 日常の買い物のしやすさ	336	100.0	239	71.1	78	23.2	11	3.3	8	2.4
2. 病院や福祉施設	336	100.0	230	68.5	77	22.9	14	4.2	15	4.5
3. 治安、防犯の面	336	100.0	226	67.3	77	22.9	20	6.0	13	3.9
4. 騒音や大気汚染などの公害の状況	336	100.0	193	57.4	101	30.1	31	9.2	11	3.3
5. 公共交通機関の利便性	336	100.0	217	64.6	97	28.9	10	3.0	12	3.6
6. 子どもの遊び場や公園	336	100.0	130	38.7	108	32.1	71	21.1	27	8.0
7. 子育て・教育に関する施設	336	100.0	121	36.0	91	27.1	98	29.2	26	7.7
8. 緑・水辺など自然の豊かさ	336	100.0	141	42.0	136	40.5	42	12.5	17	5.1
9. 街並み、風景などの良さ	336	100.0	193	57.4	100	29.8	27	8.0	16	4.8
10. 近隣の人たちや地域との関わり	336	100.0	169	50.3	84	25.0	65	19.3	18	5.4
11. 災害時の安全性(地震・台風・火災等)	336	100.0	165	49.1	98	29.2	53	15.8	20	6.0
12. ゴミ等が少なく衛生的	336	100.0	237	70.5	75	22.3	10	3.0	14	4.2
13. 親または子どもと同居・近居できる	336	100.0	157	46.7	52	15.5	104	31.0	23	6.8
14. 市役所、図書館などの公共施設	336	100.0	154	45.8	133	39.6	35	10.4	14	4.2
15. 敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり	336	100.0	202	60.1	105	31.3	18	5.4	11	3.3
若年・子育て世帯										
1. 日常の買い物のしやすさ	225	100.0	188	83.6	28	12.4	4	1.8	5	2.2
2. 病院や福祉施設	225	100.0	168	74.7	45	20.0	7	3.1	5	2.2
3. 治安、防犯の面	225	100.0	148	65.8	66	29.3	7	3.1	4	1.8
4. 騒音や大気汚染などの公害の状況	225	100.0	137	60.9	69	30.7	14	6.2	5	2.2
5. 公共交通機関の利便性	225	100.0	144	64.0	68	30.2	6	2.7	7	3.1
6. 子どもの遊び場や公園	225	100.0	103	45.8	82	36.4	33	14.7	7	3.1
7. 子育て・教育に関する施設	225	100.0	118	52.4	59	26.2	40	17.8	8	3.6
8. 緑・水辺など自然の豊かさ	225	100.0	103	45.8	90	40.0	26	11.6	6	2.7
9. 街並み、風景などの良さ	225	100.0	131	58.2	74	32.9	13	5.8	7	3.1
10. 近隣の人たちや地域との関わり	225	100.0	94	41.8	56	24.9	69	30.7	6	2.7
11. 災害時の安全性(地震・台風・火災等)	225	100.0	114	50.7	78	34.7	26	11.6	7	3.1
12. ゴミ等が少なく衛生的	225	100.0	138	61.3	71	31.6	11	4.9	5	2.2
13. 親または子どもと同居・近居できる	225	100.0	120	53.3	36	16.0	62	27.6	7	3.1
14. 市役所、図書館などの公共施設	225	100.0	114	50.7	77	34.2	29	12.9	5	2.2
15. 敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり	225	100.0	142	63.1	66	29.3	11	4.9	6	2.7

前回調査と比べると、満足度は「5. 公共交通機関の利便性」で約9ポイント高くなった一方で、「7. 子育て・教育に関する施設」では約9ポイント低くなった。

住宅周辺の環境の満足度（前回調査との比較）

※「ない・わからない」、「無回答」を除いて再集計した

※「7. 子育て・教育に関する施設」の比較については、前回調査の「保育所など子育てに関する施設が整っている」、「小中学校などの教育に関する施設が整っている」の2項目を合算した割合を用いた

※「14. 市役所、図書館などの公共施設」の比較については、前回調査の「市役所などの公共施設が整っている」、「図書館、博物館など文化施設が整っている」の2項目を合算した割合を用いた

住宅周辺の環境についての満足度（件数）		満足+やや満足	やや不満+不満	合計
1. 日常の買い物のしやすさ	前回	328	94	422
	今回	549	134	683
2. 病院や福祉施設	前回	308	106	414
	今回	507	157	664
3. 治安、防犯の面	前回	308	103	411
	今回	475	187	662
4. 騒音や大気汚染などの公害の状況	前回	293	116	409
	今回	418	224	642
5. 公共交通機関の利便性	前回	253	165	418
	今回	466	206	672
6. 子どもの遊び場や公園	前回	217	192	409
	今回	299	228	527
7. 子育て・教育に関する施設	前回	591	215	806
	今回	304	171	475
8. 緑・水辺など自然の豊かさ	前回	212	203	415
	今回	321	276	597
9. 街並み、風景などの良さ	前回	269	144	413
	今回	418	218	636
10. 近隣の人たちや地域との関わり	前回	265	151	416
	今回	341	166	507
11. 災害時の安全性(地震・台風・火災等)	前回	256	150	406
	今回	355	231	586
12. ゴミ等が少なく衛生的	前回	304	108	412
	今回	484	182	666
13. 親または子どもと同居・近居できる	前回	305	103	408
	今回	343	116	459
14. 市役所、図書館などの公共施設	前回	506	312	818
	今回	345	263	608
15. 敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり	前回	252	165	417
	今回	442	219	661

住宅周辺の環境についての満足度（割合）		満足+やや満足	やや不満+不満	合計
1. 日常の買い物のしやすさ	前回	77.7	22.3	100.0
	今回	80.4	19.6	100.0
2. 病院や福祉施設	前回	74.4	25.6	100.0
	今回	76.4	23.6	100.0
3. 治安、防犯の面	前回	74.9	25.1	100.0
	今回	71.8	28.2	100.0
4. 騒音や大気汚染などの公害の状況	前回	71.6	28.4	100.0
	今回	65.1	34.9	100.0
5. 公共交通機関の利便性	前回	60.5	39.5	100.0
	今回	69.3	30.7	100.0
6. 子どもの遊び場や公園	前回	53.1	46.9	100.0
	今回	56.7	43.3	100.0
7. 子育て・教育に関する施設	前回	73.3	26.7	100.0
	今回	64.0	36.0	100.0
8. 緑・水辺など自然の豊かさ	前回	51.1	48.9	100.0
	今回	53.8	46.2	100.0
9. 街並み、風景などの良さ	前回	65.1	34.9	100.0
	今回	65.7	34.3	100.0
10. 近隣の人たちや地域との関わり	前回	63.7	36.3	100.0
	今回	67.3	32.7	100.0
11. 災害時の安全性(地震・台風・火災等)	前回	63.1	36.9	100.0
	今回	60.6	39.4	100.0
12. ゴミ等が少なく衛生的	前回	73.8	26.2	100.0
	今回	72.7	27.3	100.0
13. 親または子どもと同居・近居できる	前回	74.8	25.2	100.0
	今回	74.7	25.3	100.0
14. 市役所、図書館などの公共施設	前回	61.9	38.1	100.0
	今回	56.7	43.3	100.0
15. 敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり	前回	60.4	39.6	100.0
	今回	66.9	33.1	100.0

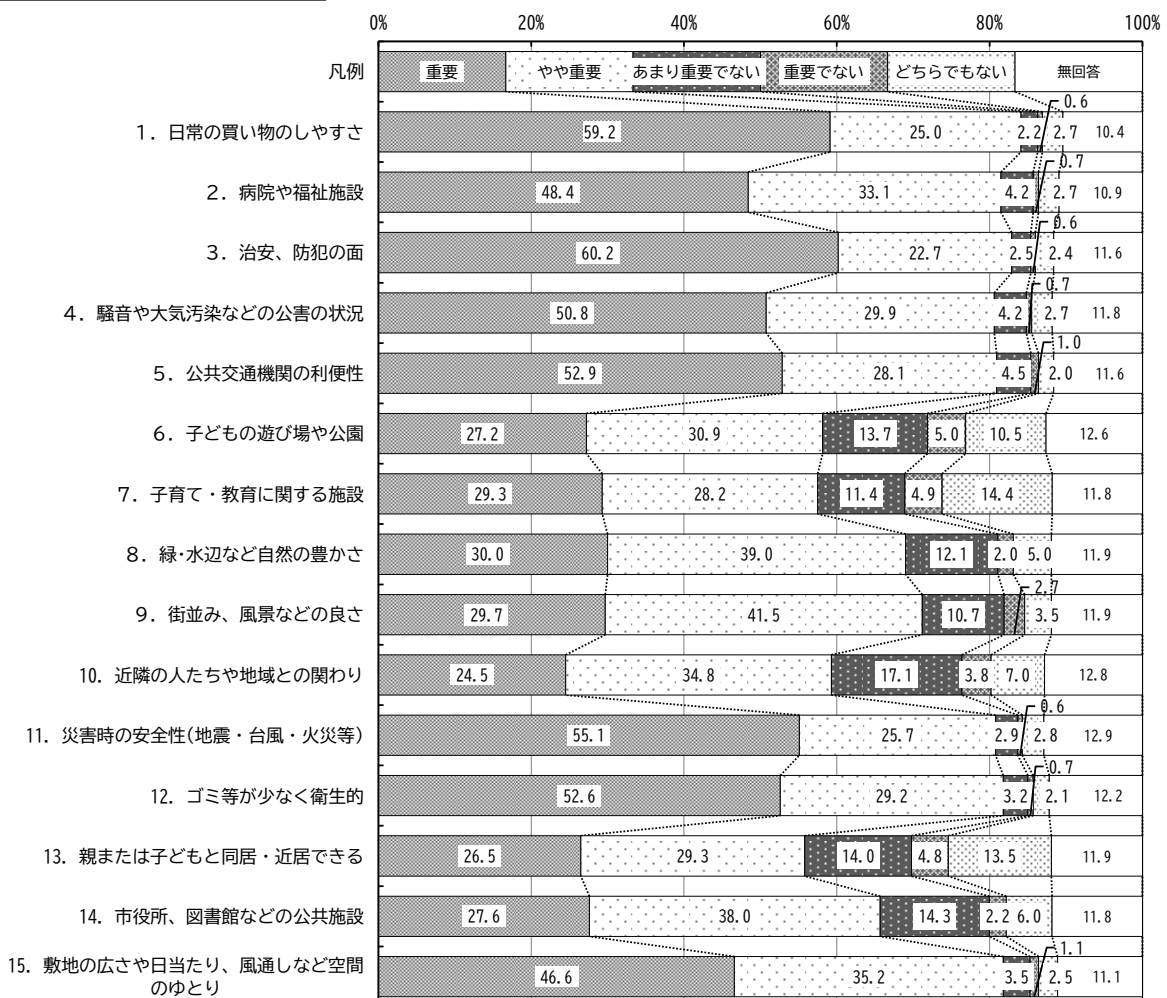
今後の重要度	重要 / やや重要 / あまり重要でない / 重要でない / どちらでもない
1. 日常の買い物のしやすさ	2. 病院や福祉施設
3. 治安、防犯の面	4. 騒音や大気汚染などの公害の状況
5. 公共交通機関の利便性	6. 子どもの遊び場や公園
7. 子育て・教育に関する施設	8. 緑・水辺など自然の豊かさ
9. 街並み、風景などの良さ	10. 近隣の人たちや地域との関わり
11. 災害時の安全性(地震・台風・火災等)	12. ゴミ等が少なく衛生的
13. 親または子どもと同居・近居できる	14. 市役所、図書館などの公共施設
15. 敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり	

<今後の重要度>

今後住宅を選ぶ際の周辺環境の重要度をみると、『重要側（重要＋やや重要）』の割合が高いのは、「1. 日常の買い物のしやすさ」（84.2%）、「3. 治安、防犯の面」（82.9%）、「12. ゴミ等が少なく衛生的」、「15. 敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり」（それぞれ 81.8%）となっている。

一方で『重要でない側（あまり重要でない＋重要でない）』の割合が高いのは、「10. 近隣の人たちや地域との関わり」（20.9%）、「13. 親または子どもと同居・近居できる」（18.8%）、「6. 子どもの遊び場や公園」（18.7%）などとなっている。ただし、『重要側（重要＋やや重要）』の割合がいずれの項目も5割超と高く、どの項目も重視していることがうかがえる。

問10 住宅周辺の環境についての重要度



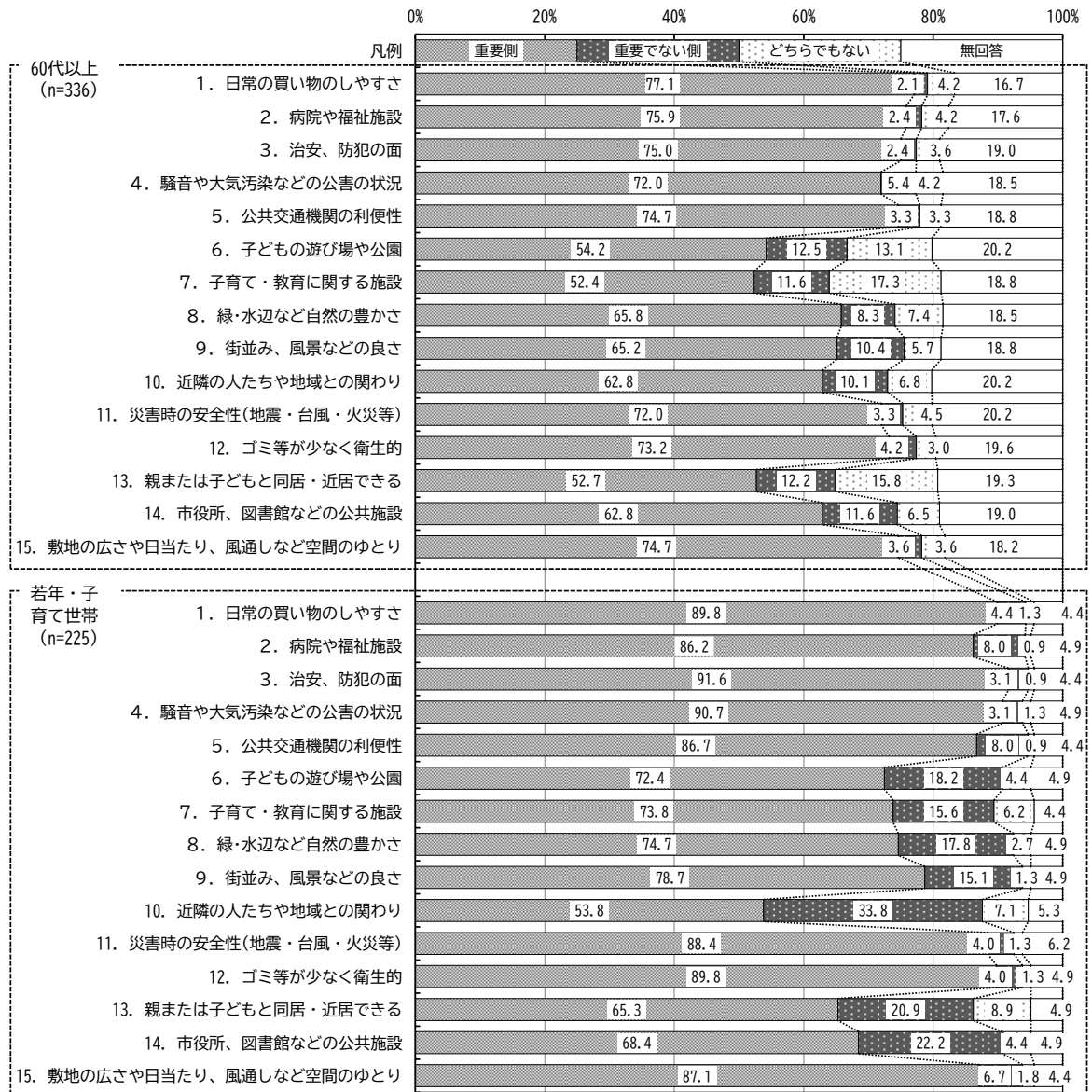
問10 住宅取得や住み替え等の際の住宅周辺環境の重要度

（単数回答）

上段：件数 下段：横%	合計	重要	やや重要	あまり重要 でない	重要でない	どちらでも ない	無回答
1. 日常の買い物のしやすさ	713 100.0	422 59.2	178 25.0	16 2.2	4 0.6	19 2.7	74 10.4
2. 病院や福祉施設	713 100.0	345 48.4	236 33.1	30 4.2	5 0.7	19 2.7	78 10.9
3. 治安、防犯の面	713 100.0	429 60.2	162 22.7	18 2.5	4 0.6	17 2.4	83 11.6
4. 騒音や大気汚染などの公害の状況	713 100.0	362 50.8	213 29.9	30 4.2	5 0.7	19 2.7	84 11.8
5. 公共交通機関の利便性	713 100.0	377 52.9	200 28.1	32 4.5	7 1.0	14 2.0	83 11.6
6. 子どもの遊び場や公園	713 100.0	194 27.2	220 30.9	98 13.7	36 5.0	75 10.5	90 12.6
7. 子育て・教育に関する施設	713 100.0	209 29.3	201 28.2	81 11.4	35 4.9	103 14.4	84 11.8
8. 緑・水辺など自然の豊かさ	713 100.0	214 30.0	278 39.0	86 12.1	14 2.0	36 5.0	85 11.9
9. 街並み、風景などの良さ	713 100.0	212 29.7	296 41.5	76 10.7	19 2.7	25 3.5	85 11.9
10. 近隣の人たちや地域との関わり	713 100.0	175 24.5	248 34.8	122 17.1	27 3.8	50 7.0	91 12.8
11. 災害時の安全性(地震・台風・火災等)	713 100.0	393 55.1	183 25.7	21 2.9	4 0.6	20 2.8	92 12.9
12. ゴミ等が少なく衛生的	713 100.0	375 52.6	208 29.2	23 3.2	5 0.7	15 2.1	87 12.2
13. 親または子どもと同居・近居できる	713 100.0	189 26.5	209 29.3	100 14.0	34 4.8	96 13.5	85 11.9
14. 市役所、図書館などの公共施設	713 100.0	197 27.6	271 38.0	102 14.3	16 2.2	43 6.0	84 11.8
15. 敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり	713 100.0	332 46.6	251 35.2	25 3.5	8 1.1	18 2.5	79 11.1

60代以上と若者・子育て世帯を比較すると、「7. 子育て・教育に関する施設」では若者・子育て世帯のほうが重視する傾向がみられ、「10. 近隣の人たちや地域との関わり」では60代以上のほうが重視する傾向がみられる。

問10 住宅周辺の環境についての重要度



問10 住宅周辺の環境についての重要度 【属性別】

(単数回答)

	合計		重要側 (重要+やや重要)		重要でない側 (あまり重要でない+重要でない)		どちらでもない		無回答	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
60代以上										
1. 日常の買い物のしやすさ	336	100.0	259	77.1	7	2.1	14	4.2	56	16.7
2. 病院や福祉施設	336	100.0	255	75.9	8	2.4	14	4.2	59	17.6
3. 治安、防犯の面	336	100.0	252	75.0	8	2.4	12	3.6	64	19.0
4. 騒音や大気汚染などの公害の状況	336	100.0	242	72.0	18	5.4	14	4.2	62	18.5
5. 公共交通機関の利便性	336	100.0	251	74.7	11	3.3	11	3.3	63	18.8
6. 子どもの遊び場や公園	336	100.0	182	54.2	42	12.5	44	13.1	68	20.2
7. 子育て・教育に関する施設	336	100.0	176	52.4	39	11.6	58	17.3	63	18.8
8. 緑・水辺など自然の豊かさ	336	100.0	221	65.8	28	8.3	25	7.4	62	18.5
9. 街並み、風景などの良さ	336	100.0	219	65.2	35	10.4	19	5.7	63	18.8
10. 近隣の人たちや地域との関わり	336	100.0	211	62.8	34	10.1	23	6.8	68	20.2
11. 災害時の安全性(地震・台風・火災等)	336	100.0	242	72.0	11	3.3	15	4.5	68	20.2
12. ゴミ等が少なく衛生的	336	100.0	246	73.2	14	4.2	10	3.0	66	19.6
13. 親または子どもと同居・近居できる	336	100.0	177	52.7	41	12.2	53	15.8	65	19.3
14. 市役所、図書館などの公共施設	336	100.0	211	62.8	39	11.6	22	6.5	64	19.0
15. 敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり	336	100.0	251	74.7	12	3.6	12	3.6	61	18.2
若年・子育て世帯										
1. 日常の買い物のしやすさ	225	100.0	202	89.8	10	4.4	3	1.3	10	4.4
2. 病院や福祉施設	225	100.0	194	86.2	18	8.0	2	0.9	11	4.9
3. 治安、防犯の面	225	100.0	206	91.6	7	3.1	2	0.9	10	4.4
4. 騒音や大気汚染などの公害の状況	225	100.0	204	90.7	7	3.1	3	1.3	11	4.9
5. 公共交通機関の利便性	225	100.0	195	86.7	18	8.0	2	0.9	10	4.4
6. 子どもの遊び場や公園	225	100.0	163	72.4	41	18.2	10	4.4	11	4.9
7. 子育て・教育に関する施設	225	100.0	166	73.8	35	15.6	14	6.2	10	4.4
8. 緑・水辺など自然の豊かさ	225	100.0	168	74.7	40	17.8	6	2.7	11	4.9
9. 街並み、風景などの良さ	225	100.0	177	78.7	34	15.1	3	1.3	11	4.9
10. 近隣の人たちや地域との関わり	225	100.0	121	53.8	76	33.8	16	7.1	12	5.3
11. 災害時の安全性(地震・台風・火災等)	225	100.0	199	88.4	9	4.0	3	1.3	14	6.2
12. ゴミ等が少なく衛生的	225	100.0	202	89.8	9	4.0	3	1.3	11	4.9
13. 親または子どもと同居・近居できる	225	100.0	147	65.3	47	20.9	20	8.9	11	4.9
14. 市役所、図書館などの公共施設	225	100.0	154	68.4	50	22.2	10	4.4	11	4.9
15. 敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり	225	100.0	196	87.1	15	6.7	4	1.8	10	4.4

前回調査と比べて大きな差はほとんど見られないが、「13.親または子どもと同居・近居できる」(約7ポイント減)、「10. 近隣の人たちや地域との関わり」(約6ポイント減)、「6. 子どもの遊び場や公園」(約5ポイント減)で重要度が低くなった。

住宅周辺の環境についての重要度（前回調査との比較）

※「どちらでもない」、「無回答」を除いて再集計した

※「7. 子育て・教育に関する施設」の比較については、前回調査の「保育所など子育てに関する施設が整っている」、「小中学校などの教育に関する施設が整っている」の2項目を合算した割合を用いた

※「14. 市役所、図書館などの公共施設」の比較については、前回調査の「市役所などの公共施設が整っている」、「図書館、博物館など文化施設が整っている」の2項目を合算した割合を用いた

住宅周辺の環境についての重要度 (件数)		重要+やや 満足	あまり重要 でない+重 要でない	合計
1. 日常の買い物のしやすさ	前回 今回	369 600	23 20	392 620
2. 病院や福祉施設	前回 今回	354 581	36 35	390 616
3. 治安、防犯の面	前回 今回	376 591	14 22	390 613
4. 騒音や大気汚染などの公害の状況	前回 今回	360 575	26 35	386 610
5. 公共交通機関の利便性	前回 今回	350 577	40 39	390 616
6. 子どもの遊び場や公園	前回 今回	312 414	76 134	388 548
7. 子育て・教育に関する施設	前回 今回	610 410	165 116	775 526
8. 緑・水辺など自然の豊かさ	前回 今回	319 492	68 100	387 592
9. 街並み、風景などの良さ	前回 今回	326 508	59 95	385 603
10. 近隣の人たちや地域との関わり	前回 今回	314 423	77 149	391 572
11. 災害時の安全性(地震・台風・火災等)	前回 今回	377 576	13 25	390 601
12. ゴミ等が少なく衛生的	前回 今回	370 583	18 28	388 611
13. 親または子どもと同居・近居できる	前回 今回	322 398	71 134	393 532
14. 市役所、図書館などの公共施設	前回 今回	613 468	165 118	778 586
15. 敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり	前回 今回	360 583	33 33	393 616

住宅周辺の環境についての重要度 (件数)		重要+やや 満足	あまり重要 でない+重 要でない	合計
1. 日常の買い物のしやすさ	前回 今回	94.1 96.8	5.9 3.2	100.0 100.0
2. 病院や福祉施設	前回 今回	90.8 94.3	9.2 5.7	100.0 100.0
3. 治安、防犯の面	前回 今回	96.4 96.4	3.6 3.6	100.0 100.0
4. 騒音や大気汚染などの公害の状況	前回 今回	93.3 94.3	6.7 5.7	100.0 100.0
5. 公共交通機関の利便性	前回 今回	89.7 93.7	10.3 6.3	100.0 100.0
6. 子どもの遊び場や公園	前回 今回	80.4 75.5	19.6 24.5	100.0 100.0
7. 子育て・教育に関する施設	前回 今回	78.7 77.9	21.3 22.1	100.0 100.0
8. 緑・水辺など自然の豊かさ	前回 今回	82.4 83.1	17.6 16.9	100.0 100.0
9. 街並み、風景などの良さ	前回 今回	84.7 84.2	15.3 15.8	100.0 100.0
10. 近隣の人たちや地域との関わり	前回 今回	80.3 74.0	19.7 26.0	100.0 100.0
11. 災害時の安全性(地震・台風・火災等)	前回 今回	96.7 95.8	3.3 4.2	100.0 100.0
12. ゴミ等が少なく衛生的	前回 今回	95.4 95.4	4.6 4.6	100.0 100.0
13. 親または子どもと同居・近居できる	前回 今回	81.9 74.8	18.1 25.2	100.0 100.0
14. 市役所、図書館などの公共施設	前回 今回	78.8 79.9	21.2 20.1	100.0 100.0
15. 敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり	前回 今回	91.6 94.6	8.4 5.4	100.0 100.0

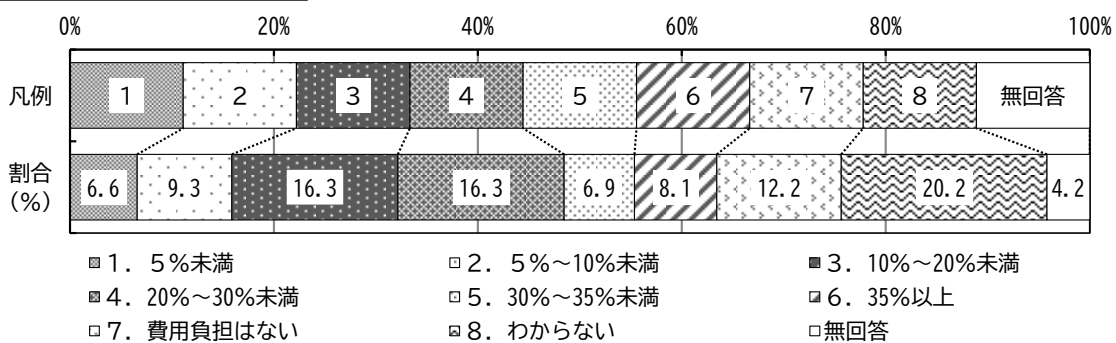
〔問11〕 現在、世帯の収入に占める住居費の割合はどのくらいですか。あてはまるものを1つ選んでください。

<input type="checkbox"/> 1. 5%未満	<input type="checkbox"/> 2. 5%～10%未満	<input type="checkbox"/> 3. 10%～20%未満
<input type="checkbox"/> 4. 20%～30%未満	<input type="checkbox"/> 5. 30%～35%未満	<input type="checkbox"/> 6. 35%以上
<input type="checkbox"/> 7. 費用負担はない	<input type="checkbox"/> 8. わからない	

世帯収入に占める住居費（持ち家の住宅ローンや借家の家賃等）の割合については、「8. わからない」が約2割（20.2%）と最も高くなっている。

住居費の割合を把握しているものについてみると、「3. 10%～20%未満」、「4. 20%～30%未満」がともに2割弱（16.3%）と最も高く、次いで「7. 費用負担はない」が（12.2%）となっている。

問11 世帯の収入に占める住居費（単一回答）



問11 現在、世帯の収入に占める住居費

（単数回答）

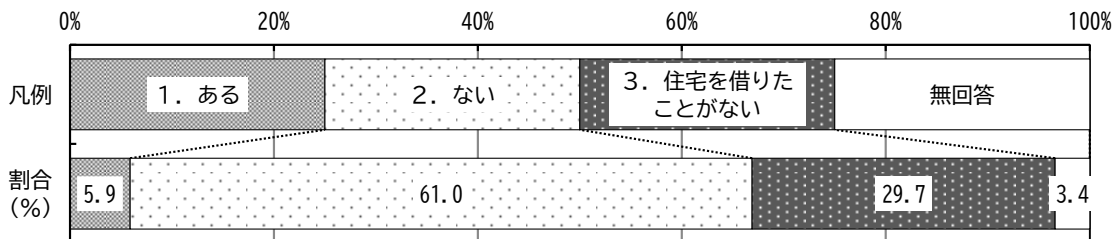
	件数	割合 (%)
1. 5%未満	47	6.6
2. 5%～10%未満	66	9.3
3. 10%～20%未満	116	16.3
4. 20%～30%未満	116	16.3
5. 30%～35%未満	49	6.9
6. 35%以上	58	8.1
7. 費用負担はない	87	12.2
8. わからない	144	20.2
無回答	30	4.2
合計	713	100.0

〔問12〕あなたは、過去10年程度の間に、希望する住宅を借りる際に、不動産業者・大家さん等に断られたことがありますか。

☐ 1. ある ☐ 2. ない ☐ 3. 住宅を借りたことがない

過去10年間に於いて、希望する住宅を借りる際に、不動産業者や大家等に断られた経験があったか尋ねたところ、「2. ない」が6割強（61.0%）となっている。一方で、断られた経験が「1. ある」が42件（5.9%）と、若干ながら回答がみられる。

問12 希望する住宅を借りる際に断られた経験（単一回答）



問12 希望する住宅を借りる際に断られたこと経験（単数回答）

	件数	割合 (%)
1. ある	42	5.9
2. ない	435	61.0
3. 住宅を借りたことがない	212	29.7
無回答	24	3.4
合計	713	100.0

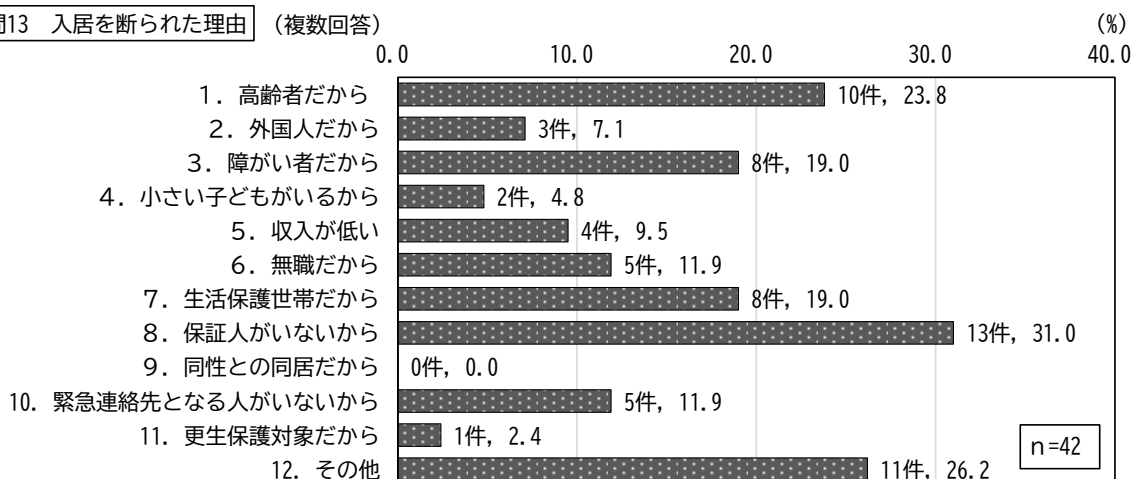
問11で「1. ある」と答えた方におたずねします

〔問13〕入居を断られた理由としてあてはまるものを、次の中から選んでください（いくつでも）。

☐ 1. 高齢者だから ☐ 2. 外国人だから ☐ 3. 障がい者だから
☐ 4. 小さい子どもがいるから ☐ 5. 収入が低い ☐ 6. 無職だから
☐ 7. 生活保護世帯だから ☐ 8. 保証人がいないから ☐ 9. 同性との同居だから
☐ 10. 緊急連絡先となる人がいないから ☐ 11. 更生保護対象だから ☐ 12. その他 []

断られた経験があるとの回答者42人に対し、断られた理由を尋ねたところ、「8. 保証人がいないから」（13件、31.0%）、「1. 高齢者だから」（10件、23.8%）、「3. 障がい者だから」、「7. 生活保護世帯だから」（それぞれ8件、19.0%）などが挙げられている。

問13 入居を断られた理由（複数回答）



問13 入居を断られた理由		n=42（複数回答）	
	件数	割合（％）	
1. 高齢者だから	10	23.8	
2. 外国人だから	3	7.1	
3. 障がい者だから	8	19.0	
4. 小さい子どもがいるから	2	4.8	
5. 収入が低い	4	9.5	
6. 無職だから	5	11.9	
7. 生活保護世帯だから	8	19.0	
8. 保証人がいないから	13	31.0	
9. 同性との同居だから	0	0.0	
10. 緊急連絡先となる人がいないから	5	11.9	
11. 更生保護対象だから	1	2.4	
12. その他	11	26.2	

3 住宅の取得意向について

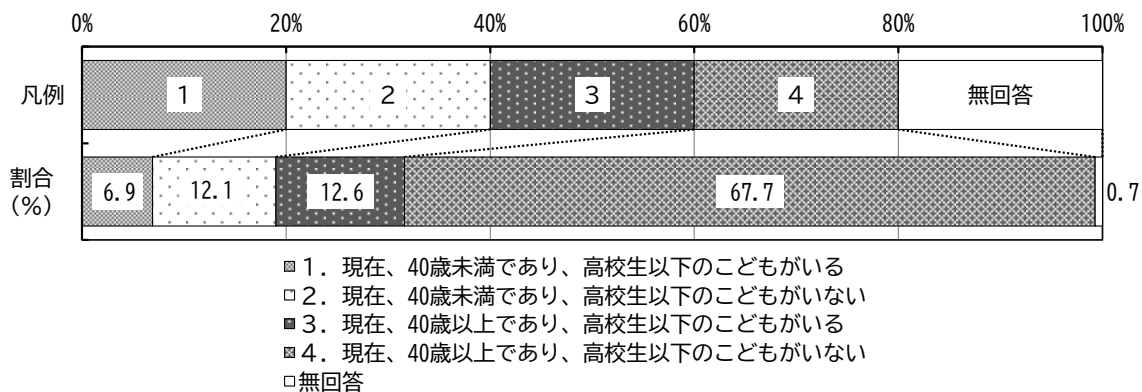
問15～問17は、現在40歳未満の回答者の方（問2で「18・19歳」、「20代」、「30代」と答えた方）、もしくは、現在高校生以下のお子さんがある回答者の方におたずねします。

〔問14〕あなたの状態に最も近いものを下記から1つ選んでください。

- | | |
|--|----------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 現在、40歳未満であり、高校生以下のこどもがいる
<input type="checkbox"/> 2. 現在、40歳未満であり、高校生以下のこどもがいない
<input type="checkbox"/> 3. 現在、40歳以上であり、高校生以下のこどもがいる
<input type="checkbox"/> 4. 現在、40歳以上であり、高校生以下のこどもがいない | } ⇒問15 へ
} ⇒問18 へ |
|--|----------------------|

回答者の年代及び高校生以下のこどもの有無を尋ねたところ、「4. 現在、40歳以上であり、高校生以下のこどもがいない」が7割弱（67.7%）と大半を占めている。一方で、「3. 現在、40歳以上であり、高校生以下のこどもがいる」（12.6%）、「1. 現在、40歳未満であり、高校生以下のこどもがいる」は1割未満（6.9%）であり、『子育て世帯（選択肢1+3）』は約2割（19.5%）となっている。また、高校生以下のこどもがいない『若年世帯』と捉えられる「2. 現在、40歳未満であり、高校生以下のこどもがいない」は、1割強（12.1%）となっている。

問14 若年・子育て世帯（単一回答）



問14 若年・子育て世帯（単数回答）

	件数	割合（％）
1. 現在、40歳未満であり、高校生以下のこどもがいる	49	6.9
2. 現在、40歳未満であり、高校生以下のこどもがいない	86	12.1
3. 現在、40歳以上であり、高校生以下のこどもがいる	90	12.6
4. 現在、40歳以上であり、高校生以下のこどもがいない	483	67.7
無回答	5	0.7
合計	713	100.0

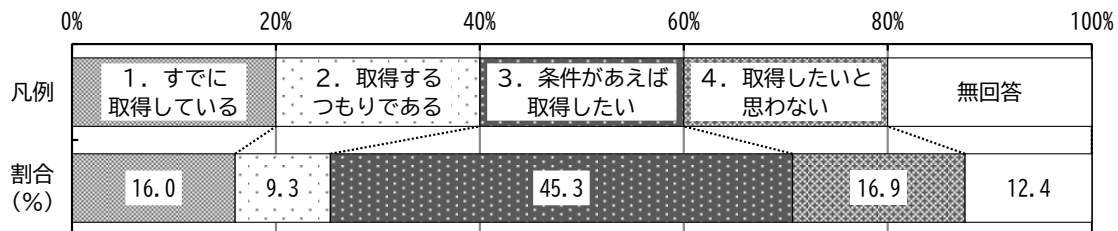
問14で「1. 現在、40歳未満であり、高校生以下のこどもがいる」、「2. 現在、40歳未満であり、高校生以下のこどもがいない」、「3. 現在、40歳以上であり、高校生以下のこどもがいる」と答えた方におたずねします

〔問15〕あなたは、将来、住宅を取得したいと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. すでに取得している | <input type="checkbox"/> 2. 取得するつもりである |
| <input type="checkbox"/> 3. 条件があれば取得したい | <input type="checkbox"/> 4. 取得したいと思わない |

『若年世帯』、『子育て世帯』の225人に対し、住宅の取得意向について尋ねたところ、「3. 条件があれば取得したい」が5割弱（45.3%）と最も高く、「2. 取得するつもりである」（9.3%）と合わせると5割強（54.6%）となり、過半数が住宅取得意向を示している。なお、「4. 取得したいと思わない」は2割弱（16.9%）、「1. すでに取得している」も2割弱（16.0%）となっている。

問15 若者・子育て世帯の住宅取得意向（n=225）（単一回答）



問15 若年・子育て世帯の住宅取得意向（単数回答）

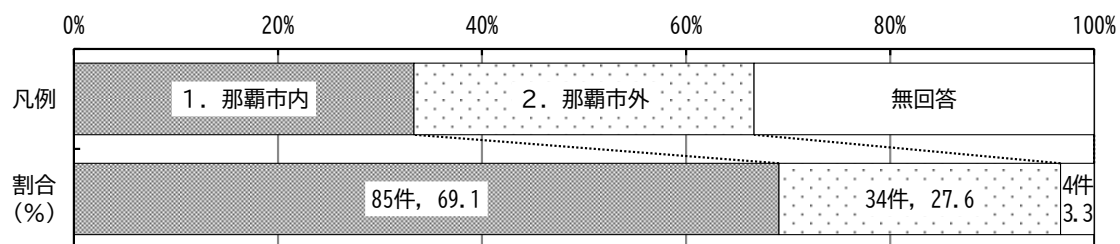
	件数	割合 (%)
1. すでに取得している	36	16.0
2. 取得するつもりである	21	9.3
3. 条件があれば取得したい	102	45.3
4. 取得したいと思わない	38	16.9
無回答	28	12.4
合計	225	100.0

問15で「2. 取得するつもりである」、「3. 条件があれば取得したい」と答えた方におたずねします
 [問16] 住宅を取得する場合、市内・市外どちらに住宅を取得したいと思いますか。

☐ 1. 那覇市内 ☐ 2. 那覇市外

住宅取得意向のある回答者 123 人に対し、取得する場合の希望場所を尋ねたところ、「1. 那覇市内」が約7割（69.1%）、「2. 那覇市外」が3割弱（27.6%）となっている。

問16 取得する場合の希望場所（n=123）（単一回答）



問16 取得する場合の希望場所

（単数回答）

	件数	割合 (%)
1. 那覇市内	85	69.1
2. 那覇市外	34	27.6
無回答	4	3.3
合計	123	100.0

〔問 17〕 住宅を取得する際には、価格以外でどのようなことを重要視しますか。あてはまるものを次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 新築住宅であること | <input type="checkbox"/> 2. 一戸建てであること |
| <input type="checkbox"/> 3. 住宅の広さ・間取りが希望通りであること | <input type="checkbox"/> 4. 住宅の省エネ性能が優れていること |
| <input type="checkbox"/> 5. IoT住宅やテレワーク等、新しい技術や住まい方に対応した住宅であること | |
| <input type="checkbox"/> 6. 親または子どもと同居・近居できる場所であること | |
| <input type="checkbox"/> 7. 子育て、教育に関する施設が充実していること | |
| <input type="checkbox"/> 8. 今後想定されるライフイベント（結婚や就業等）に適した場所であること | |
| <input type="checkbox"/> 9. 買い物・通院などの日常生活に便利であること | <input type="checkbox"/> 10. 公共交通が充実していること |
| <input type="checkbox"/> 11. 災害の被害にあいにくいこと | <input type="checkbox"/> 12. 緑、水辺など自然が豊かなこと |
| <input type="checkbox"/> 13. 近隣の人たちや地域との関わりがあること | <input type="checkbox"/> 14. その他 [] |

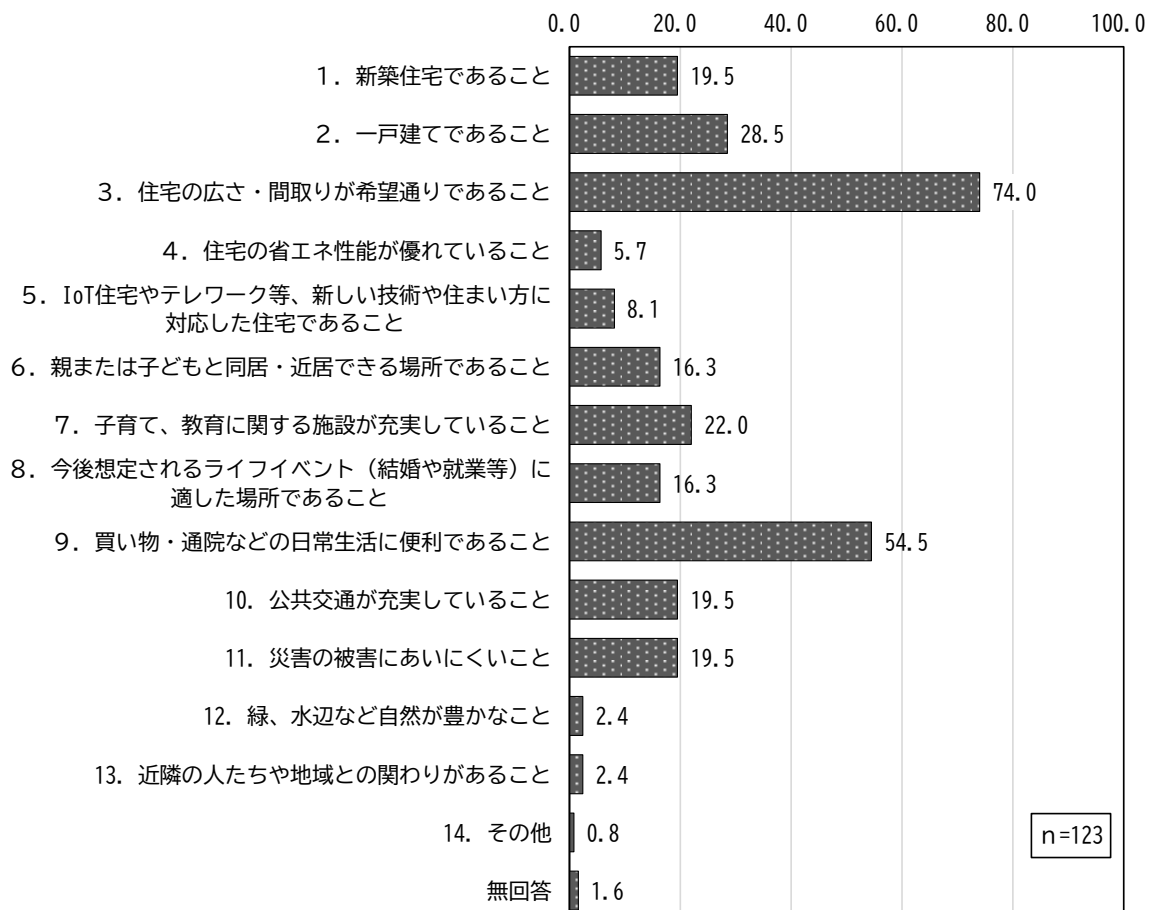
住宅取得意向のある回答者 123 人に対し、住宅取得の際に価格以外で重要視することを尋ねたところ、「3. 住宅の広さ・間取りが希望通りであること」が7割強（74.0%）と最も高く、次いで「9. 買い物・通院などの日常生活に便利であること」（54.5%）となっている。

住宅や設備（選択肢1～5）に関しては、広さ・間取りのほか、「2. 一戸建てであること」（28.5%）がやや高く、設備への重視度は低いことがうかがえる。

また、周辺環境（選択肢6～13）に関しては、買い物や通院の生活利便性のほか、「7. 子育て、教育に関する施設が充実していること」（22.0%）、「10. 公共交通が充実していること」、「11. 災害の被害にあいにくいこと」（それぞれ 19.5%）がやや高い一方で、自然の豊かさや近隣・地域との関わりへの重視度は低いことがうかがえる。

問17 価格以外で住宅取得の際に重要視すること（複数回答）

(%)



問17 価格以外で住宅取得の際に重要視すること		n=123（複数回答）	
		件数	割合（％）
1. 新築住宅であること		24	19.5
2. 一戸建てであること		35	28.5
3. 住宅の広さ・間取りが希望通りであること		91	74.0
4. 住宅の省エネ性能が優れていること		7	5.7
5. IoT住宅やテレワーク等、新しい技術や住まい方に対応した住宅であること		10	8.1
6. 親または子どもと同居・近居できる場所であること		20	16.3
7. 子育て、教育に関する施設が充実していること		27	22.0
8. 今後想定されるライフイベント（結婚や就業等）に適した場所であること		20	16.3
9. 買い物・通院などの日常生活に便利であること		67	54.5
10. 公共交通が充実していること		24	19.5
11. 災害の被害にあいにくいこと		24	19.5
12. 緑、水辺など自然が豊かなこと		3	2.4
13. 近隣の人たちや地域との関わりがあること		3	2.4
14. その他		1	0.8
無回答		2	1.6

4 持ち家の活用について

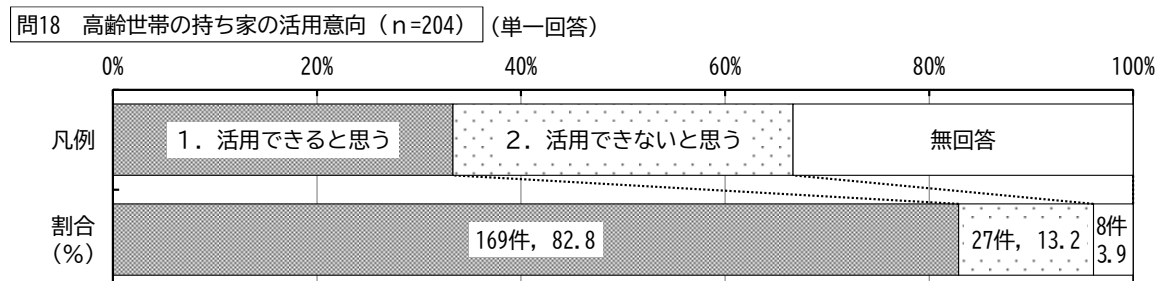
問18～問20は、現在60歳以上かつ持ち家に住んでいる回答者の方におたずねします。

60歳以上（問2で「60代」、「70代」、「80歳以上」と答えた方）で現在持ち家にお住まいの方（問6で「1～3. 持ち家」と答えた方）におたずねします

〔問18〕ご自身や世帯主が亡くなった後、もしくは別の住まいに移り住む場合、現在の住まいを活用することができると思えますか。

☐ 1. 活用できると思う ⇒問19へ ☐ 2. 活用できないと思う ⇒問20へ

現在の年齢が60歳以上かつ持ち家に住んでいる回答者204人に対し、自身や世帯主が亡くなった後、もしくは別の住まいに移り住む場合、現在の持ち家を活用することができると思えるか尋ねたところ、「1. 活用できると思う」が8割強（82.8%）、「2. 活用できないと思う」が1割強（13.2%）となっている。



問18 高齢世帯の持ち家の活用意向		（単一回答）	
		件数	割合（％）
1. 活用できると思う		169	82.8
2. 活用できないと思う		27	13.2
無回答		8	3.9
合計		204	100.0

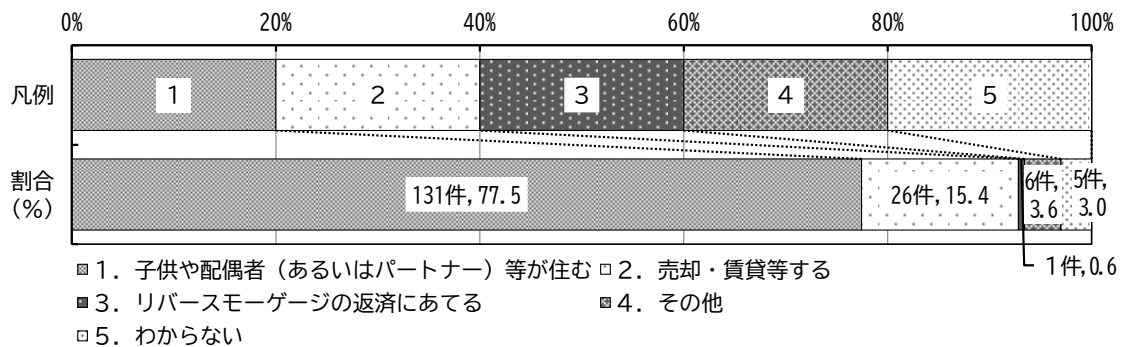
問18で「活用できると思う」と答えた方におたずねします

〔問 19〕 現在のお住いはどのように活用できると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ☐ 1. 子供や配偶者（あるいはパートナー）等が住む
 ☐ 2. 売却・賃貸等する
- ☐ 3. リバースモーゲージの返済にあてる
 ☐ 4. その他 []
- ☐ 5. わからない

持ち家を「活用できると思う」との回答者 169 人に対し、どのように活用できると思うか尋ねたところ、「1. 子供や配偶者等が住む」が 8 割弱（77.5%）と最も高く、次いで「2. 売却・賃貸等する」（15.4%）となっている。

問19 持ち家の今後の活用方法（n=169）（単一回答）



問19 持ち家の今後の活用方法 (単数回答)

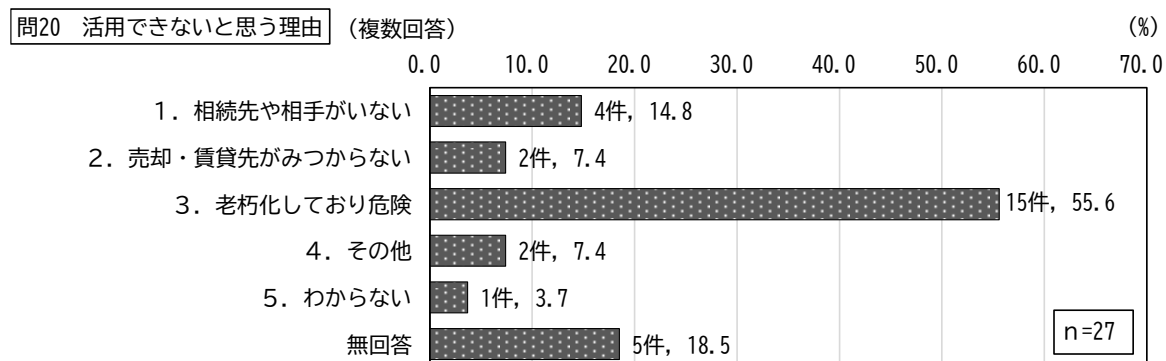
	件数	割合 (%)
1. 子供や配偶者（あるいはパートナー）等が住む	131	77.5
2. 売却・賃貸等する	26	15.4
3. リバースモーゲージの返済にあてる	1	0.6
4. その他	6	3.6
5. わからない	5	3.0
合計	169	100.0

問18で「活用できないと思う」と答えた方におたずねします

〔問20〕活用できないと思う理由は何ですか。あてはまるものを次の中から選んでください（いくつでも）。

<input type="checkbox"/> 1. 相続先や相手がいない	<input type="checkbox"/> 2. 売却・賃貸先が見つからない
<input type="checkbox"/> 3. 老朽化しており危険	<input type="checkbox"/> 4. その他 []
<input type="checkbox"/> 5. わからない	

持ち家を「活用できないと思う」との回答者 27 人に対し、その理由を尋ねたところ、「3. 老朽化しており危険」が5割強（15件，55.6%）と最も多くなっている。



問20 活用できないと思う理由		n = 27（複数回答）	
	件数	割合 (%)	
1. 相続先や相手がいない	4	14.8	
2. 売却・賃貸先が見つからない	2	7.4	
3. 老朽化しており危険	15	55.6	
4. その他	2	7.4	
5. わからない	1	3.7	
無回答	5	18.5	

5 まちなか居住について

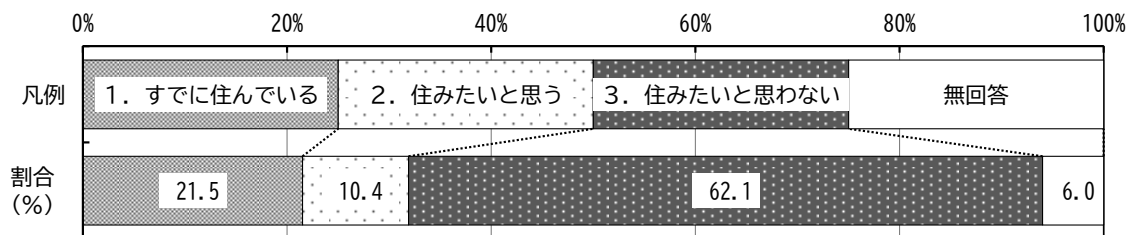
本アンケートでの「まちなか」とは、おおむね国道 58 号、又吉通り、ひめゆり通り（国道 330 号）、壺川大通り（国道 330 号）に囲まれた地域（パレットくもじ、国際通り、公設市場、農連市場周辺）を指します。

〔問 21〕 あなたは、まちなかに住みたいと思いますか。

☐ 1. すでに住んでいる ☐ 2. 住みたいと思う ☐ 3. 住みたいと思わない

回答者全てに対し、まちなか居住の意向を尋ねたところ、「3. 住みたいと思わない」が 6 割強（62.1%）となっている。一方で、「1. すでに住んでいる」は 2 割強（21.5%）、「2. 住みたいと思う」は約 1 割（10.4%）となっている。

問21 まちなか居住について（単一回答）



問21 まちなか居住について

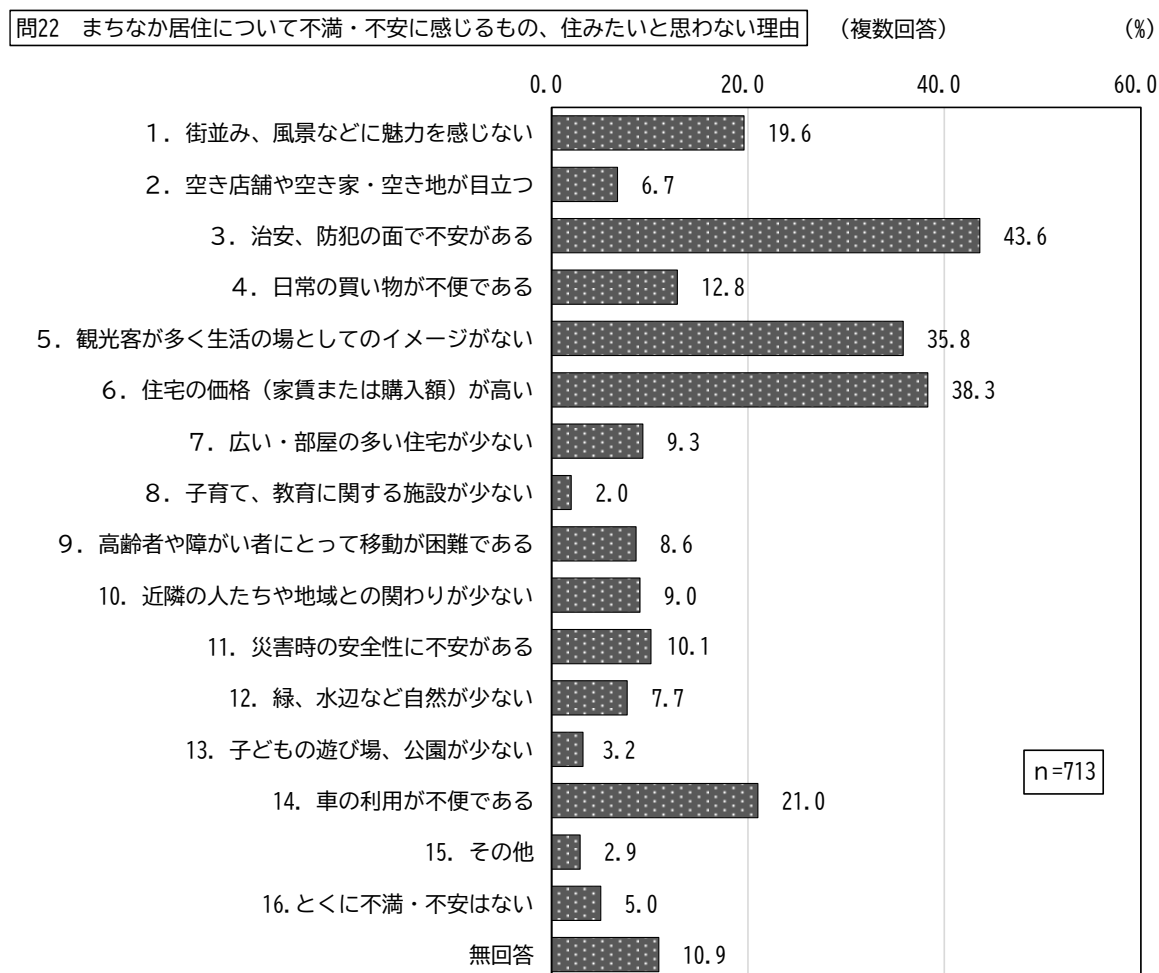
（単数回答）

	件数	割合 (%)
1. すでに住んでいる	153	21.5
2. 住みたいと思う	74	10.4
3. 住みたいと思わない	443	62.1
無回答	43	6.0
合計	713	100.0

【問 22】 まちなか居住について不満・不安に感じるものや、住みたいと思わない理由について、近いものを次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 街並み、風景などに魅力を感じない | <input type="checkbox"/> 2. 空き店舗や空き家・空き地が目立つ |
| <input type="checkbox"/> 3. 治安、防犯の面で不安がある | <input type="checkbox"/> 4. 日常の買い物が不便である |
| <input type="checkbox"/> 5. 観光客が多く生活の場としてのイメージが悪い | <input type="checkbox"/> 6. 住宅の価格（家賃または購入額）が高い |
| <input type="checkbox"/> 7. 広い・部屋の多い住宅が少ない | <input type="checkbox"/> 8. 子育て、教育に関する施設が少ない |
| <input type="checkbox"/> 9. 高齢者や障がい者にとって移動が困難である | <input type="checkbox"/> 10. 近隣の人たちや地域との関わりが少ない |
| <input type="checkbox"/> 11. 災害時の安全性に不安がある | <input type="checkbox"/> 12. 緑、水辺など自然が少ない |
| <input type="checkbox"/> 13. 子どもの遊び場、公園が少ない | <input type="checkbox"/> 14. 車の利用が不便である |
| <input type="checkbox"/> 15. その他 [] | <input type="checkbox"/> 16. とくに不満・不安はない |

まちなか居住についての不満・不安点、住みたいと思わない理由を尋ねたところ、「3. 治安、防犯面で不安がある」が4割強(43.6%)と最も高く、次いで「6. 住宅の価格が高い」(38.3%)、「5. 観光客が多く生活の場としてのイメージがない」(35.8%)がそれぞれ4割弱となっている。



問22 まちなか居住について不満・不安に感じるものや、
住みたいと思わない理由について

n = 713（複数回答）

	件数	割合（％）
1. 街並み、風景などに魅力を感じない	140	19.6
2. 空き店舗や空き家・空き地が目立つ	48	6.7
3. 治安、防犯の面で不安がある	311	43.6
4. 日常の買い物が不便である	91	12.8
5. 観光客が多く生活の場としてのイメージがない	255	35.8
6. 住宅の価格（家賃または購入額）が高い	273	38.3
7. 広い・部屋の多い住宅が少ない	66	9.3
8. 子育て、教育に関する施設が少ない	14	2.0
9. 高齢者や障がい者にとって移動が困難である	61	8.6
10. 近隣の人たちや地域との関わりが少ない	64	9.0
11. 災害時の安全性に不安がある	72	10.1
12. 緑、水辺など自然が少ない	55	7.7
13. 子どもの遊び場、公園が少ない	23	3.2
14. 車の利用が不便である	150	21.0
15. その他	21	2.9
16. とくに不満・不安はない	36	5.0
無回答	78	10.9

6 那覇市の市営住宅についておたずねします

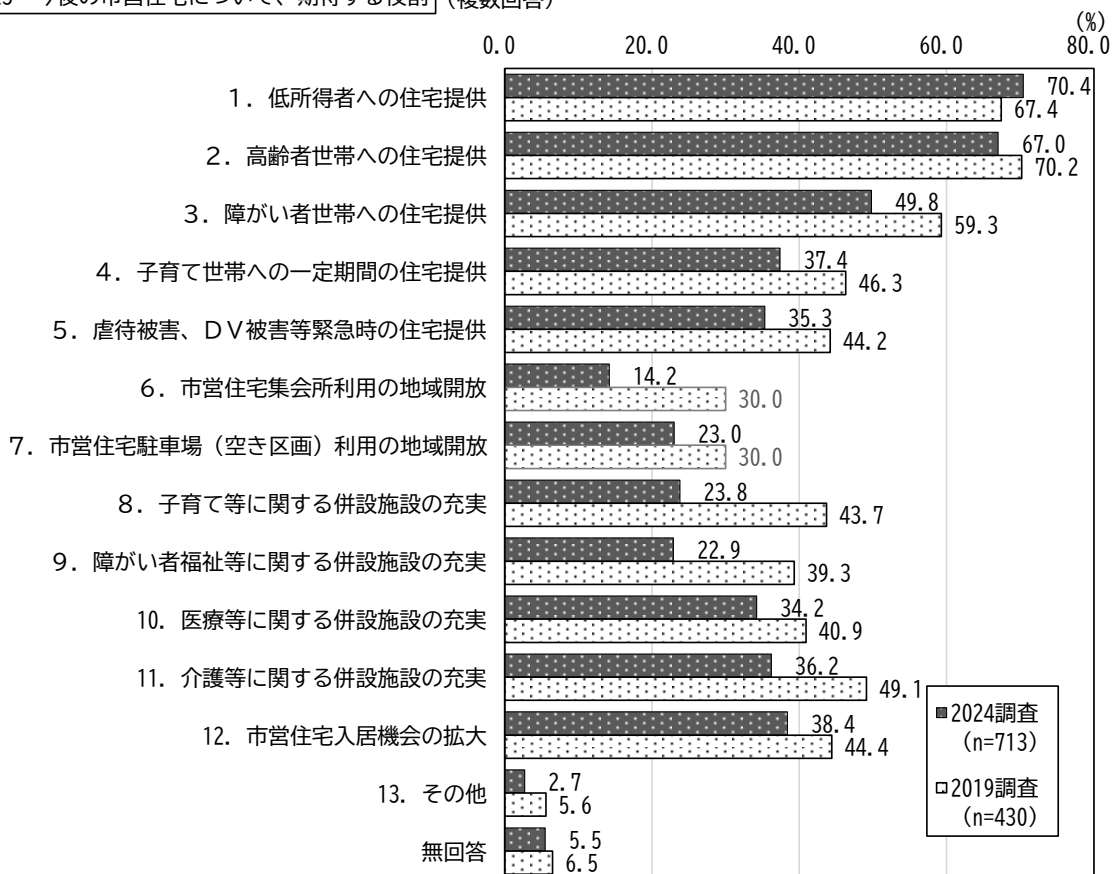
〔問 23〕 あなたは、今後の市営住宅について、どのような役割を期待しますか。あなたの考えに近いものを次の中から選んでください。（いくつでも）

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 低所得者への住宅提供 | <input type="checkbox"/> 2. 高齢者世帯への住宅提供 |
| <input type="checkbox"/> 3. 障がい者世帯への住宅提供 | <input type="checkbox"/> 4. 子育て世帯への一定期間の住宅提供 |
| <input type="checkbox"/> 5. 虐待被害、DV（ドメスティックバイオレンス）被害等緊急時の住宅提供 | |
| <input type="checkbox"/> 6. 市営住宅集会所利用の地域開放 | <input type="checkbox"/> 7. 市営住宅駐車場（空き区画）利用の地域開放 |
| <input type="checkbox"/> 8. 子育て等に関する併設施設の充実 | <input type="checkbox"/> 9. 障がい者福祉等に関する併設施設の充実 |
| <input type="checkbox"/> 10. 医療等に関する併設施設の充実 | <input type="checkbox"/> 11. 介護等に関する併設施設の充実 |
| <input type="checkbox"/> 12. 市営住宅入居機会の拡大 | <input type="checkbox"/> 13. その他 [] |

那覇市の市営住宅に期待する役割については、「1. 低所得者への住宅提供」が約7割（70.4%）と最も高く、次いで「2. 高齢者世帯への住宅提供」（67.0%）、「3. 障がい者世帯への住宅提供」（49.8%）となっている。

前回調査と全体的な傾向はほぼ同様であるが、子育てや障がい者福祉に関する併設施設の充実の回答が減少している。一方で、住宅確保要配慮者への住宅提供が依然として高く求められていることがうかがえる。

問23 今後の市営住宅について、期待する役割（複数回答）



※前回調査（2019（令和元）年度）において、「6. 市営住宅集会所利用の地域開放」と「7. 市営住宅駐車場（空き区画）の地域開放」は同一の選択肢となっており、回答割合は30.0%であった。

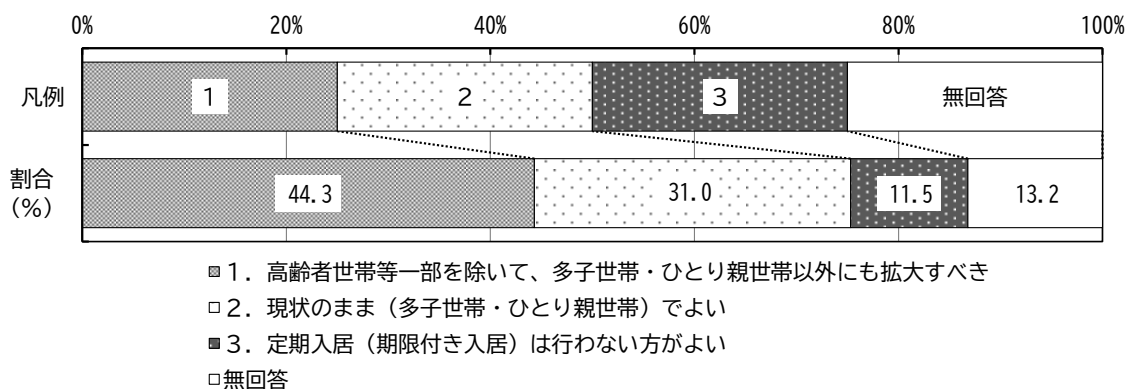
問23 今後の市営住宅について、期待する役割		n = 713（複数回答）	
		件数	割合（％）
1. 低所得者への住宅提供		502	70.4
2. 高齢者世帯への住宅提供		478	67.0
3. 障がい者世帯への住宅提供		355	49.8
4. 子育て世帯への一定期間の住宅提供		267	37.4
5. 虐待被害、DV（ドメスティックバイオレンス）被害等		252	35.3
6. 市営住宅集会所利用の地域開放		101	14.2
7. 市営住宅駐車場（空き区画）利用の地域開放		164	23.0
8. 子育て等に関する併設施設の充実		170	23.8
9. 障がい者福祉等に関する併設施設の充実		163	22.9
10. 医療等に関する併設施設の充実		244	34.2
11. 介護等に関する併設施設の充実		258	36.2
12. 市営住宅入居機会の拡大		274	38.4
13. その他		19	2.7
無回答		39	5.5

〔問 24〕本市では、多子世帯・ひとり親世帯等に「定期入居（期限付き入居）」を導入しています。「定期入居（期限付き入居）」についてあなたはどのようにお考えですか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- ☐ 1. 高齢者世帯等一部を除いて、多子世帯・ひとり親世帯以外にも拡大すべき
☐ 2. 現状のまま（多子世帯・ひとり親世帯）でよい
☐ 3. 定期入居（期限付き入居）は行わない方がよい

市営住宅で導入している「定期入居について」の考えを尋ねたところ、「1. 高齢者世帯等一部を除いて、多子世帯・ひとり親世帯以外にも拡大すべき」が4割強（44.3%）と最も高く、次いで「2. 現状のままでよい」（31.0%）となっている。なお、「3. 定期入居は行わない方がよい」との回答は1割強（11.5%）となっている。

問24 「定期入居（期限付き入居）」について（単一回答）



問24 「定期入居（期限付き入居）」について（単数回答）

	件数	割合（％）
1. 高齢者世帯等一部を除いて、多子世帯・ひとり親世帯以外にも拡大すべき	316	44.3
2. 現状のまま（多子世帯・ひとり親世帯）でよい	221	31.0
3. 定期入居（期限付き入居）は行わない方がよい	82	11.5
無回答	94	13.2
合計	713	100.0

7 那覇市の住宅政策についておたずねします

〔問 25〕本市は、どのような住宅政策に力を入れるべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを次の中から3つまで選んでください。

- ☐ 1. 若者世帯や子育て世帯が生活しやすい住戸の供給や住宅取得等の支援
- ☐ 2. 高齢者や障がい者などが地域で安心して暮らせる住環境の整備
- ☐ 3. 高齢期に適した住まい方に関する情報提供
- ☐ 4. 住宅の確保が難しい世帯への福祉政策と一体となった居住支援
- ☐ 5. 住宅に関する情報の提供、総合相談窓口の設置
- ☐ 6. 安心して住宅が取得できるよう、住宅の質を高めるための取り組み
- ☐ 7. 住宅リフォーム助成制度の導入など既存住宅ストックの活用促進
- ☐ 8. 適切に管理されていない空き家の発生防止や利活用促進
- ☐ 9. マンションの適正な管理及び建替え等に対する支援・情報提供
- ☐ 10. まちなか（中心市街地）での定住人口を増やすための取り組み
- ☐ 11. 住宅の防火・耐震化等の促進や、災害時における住宅確保の取り組み
- ☐ 12. 密集住宅市街地の改善
- ☐ 13. 那覇市の歴史・文化資源を生かした景観形成への支援
- ☐ 14. 市民ボランティアなどとの協働による住環境づくり
- ☐ 15. 脱炭素社会の実現に向けた、住まい・住環境づくりのための取り組み
- ☐ 16. IoT 住宅やテレワーク等、新しい技術や住まい方に対応した住宅の普及推進
- ☐ 17. その他 []

本市が力を入れるべきと思う住宅政策については、「2. 高齢者や障がい者などが地域で安心して暮らせる住環境の整備」が5割強（52.7%）と最も高く、次いで「1. 若者世帯や子育て世帯が生活しやすい住戸の供給や住宅取得等の支援」（49.5%）、「4. 住宅の確保が難しい世帯への福祉政策と一体となった居住支援」（33.0%）となっている。

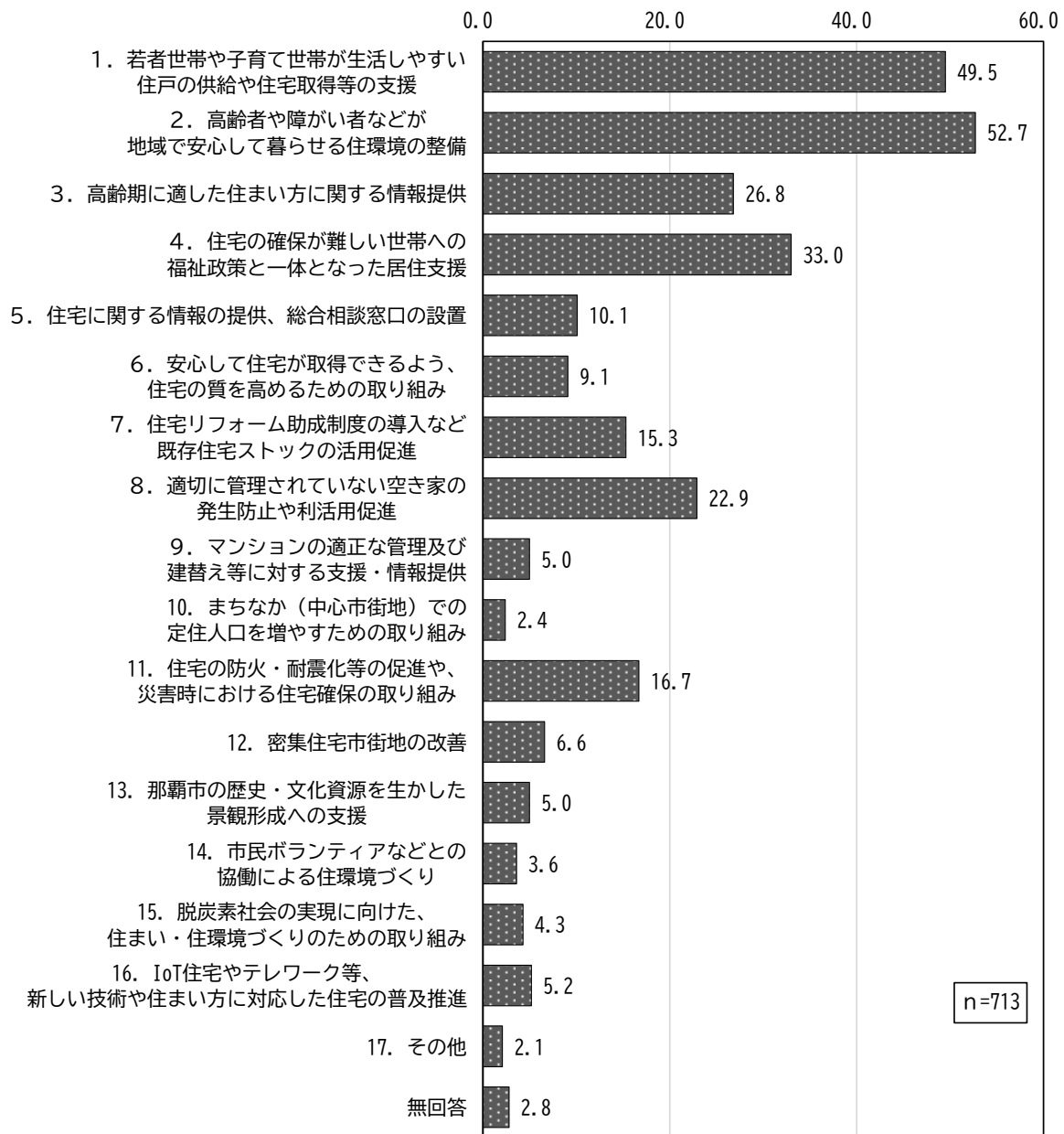
一方で「10. まちなか（中心市街地）での定住人口を増やすための取り組み」（2.4%）や「14. 市民ボランティアなどとの協働による住環境づくり」（3.6%）、「15. 脱炭素社会の実現に向けた住まい・住環境づくりのための取り組み」（4.3%）などの回答は低くなっている。

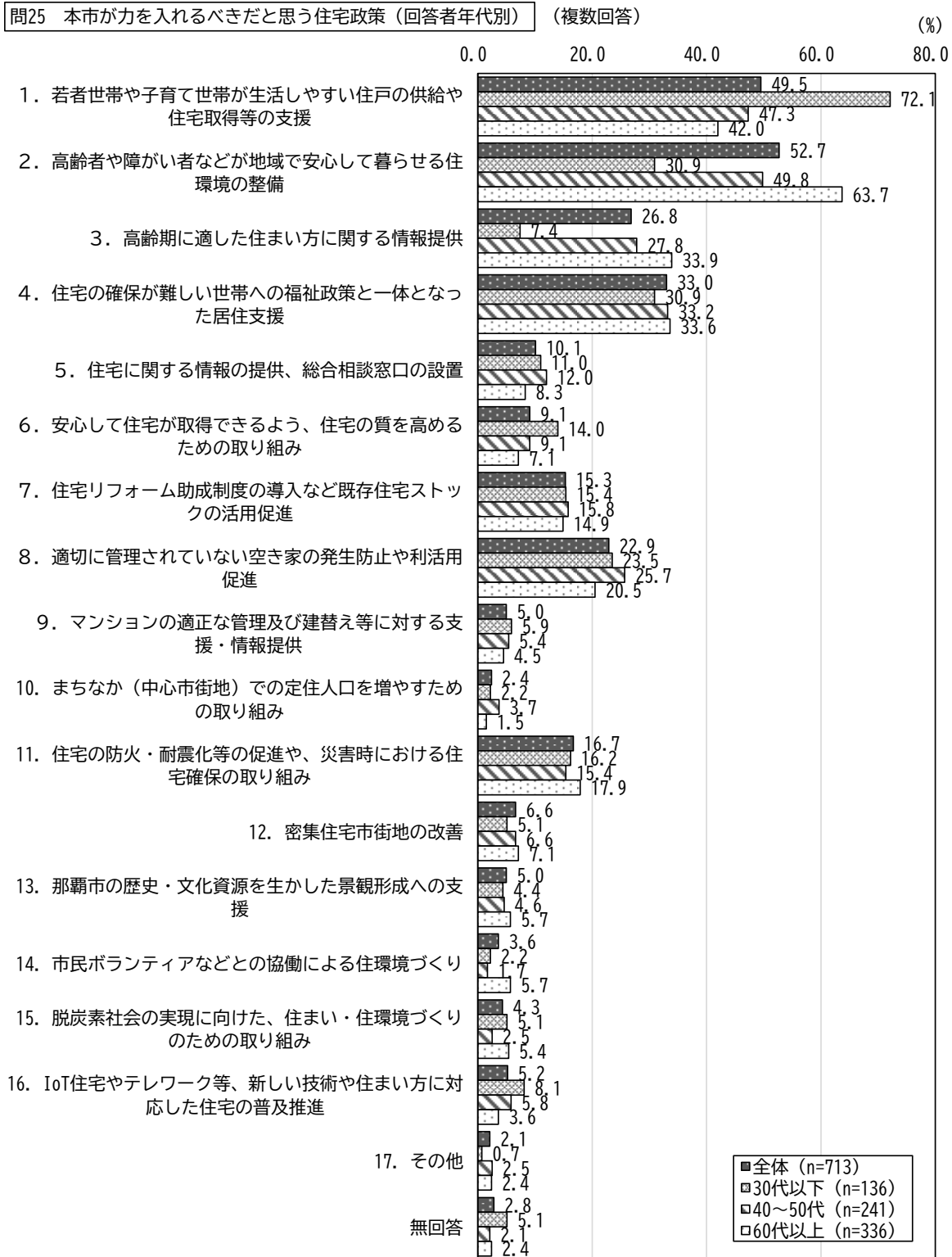
回答者の年代別にみると、30代以下では「1. 若者世帯や子育て世帯が生活しやすい住戸の供給や住宅取得等の支援」が 72.1%と最も高く、他の年代と比較しても突出している。また、「6. 安心して住宅が取得できるよう、住宅の質を高めるための取り組み」（14.0%）も他年代より高くなっている。

60代以上では、「2. 高齢者や障がい者などが地域で安心して暮らせる住環境の整備」が 63.7%と最も高く、他の年代と比較しても突出している。また、「3. 高齢期に適した住まい方に関する情報提供」（33.9%）も他年代より高くなっている。

問25 本市が力を入れるべきだと思う住宅政策（複数回答）

(%)





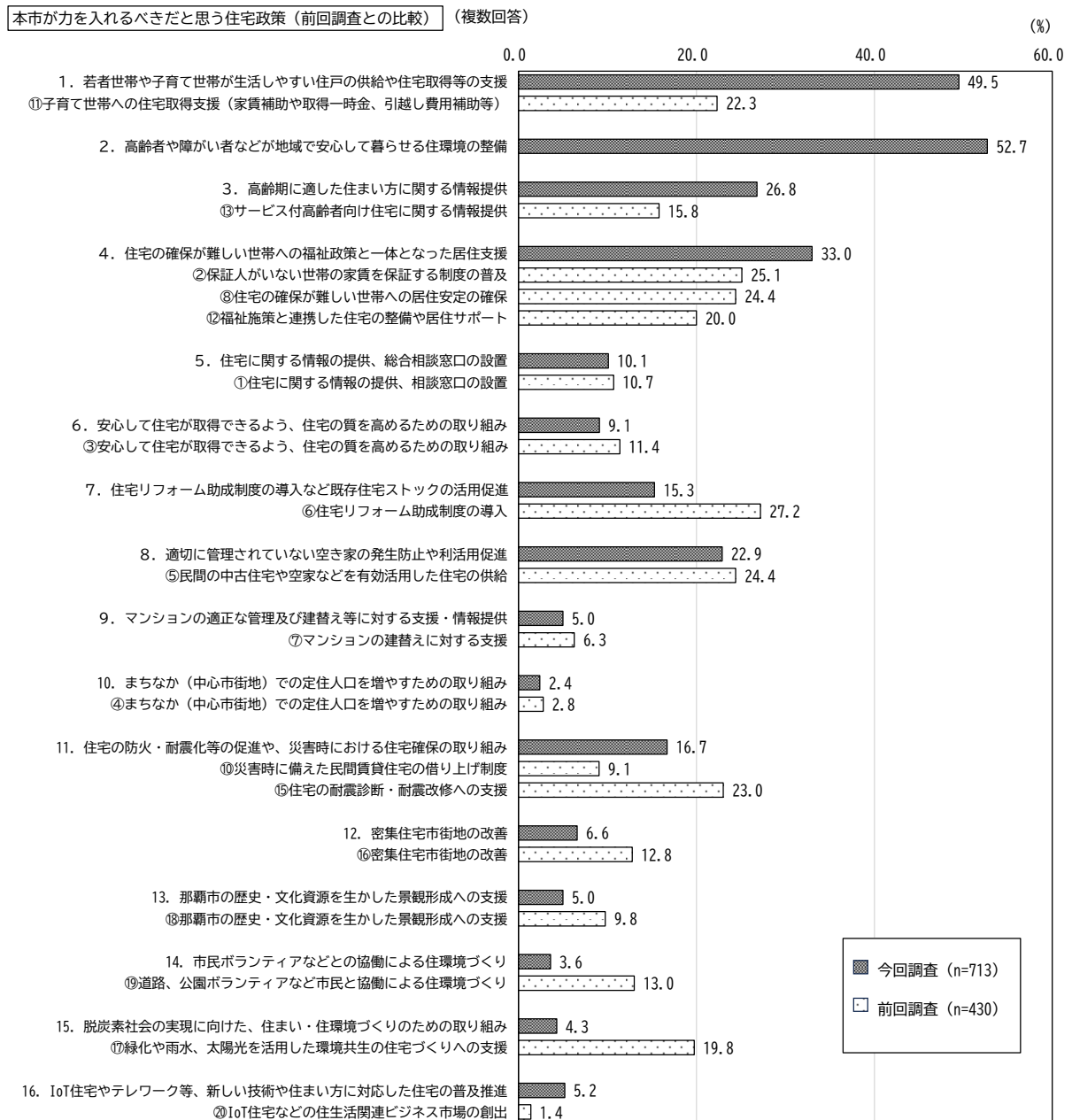
問25 本市が、力を入れるべきだと思う住宅政策 n = 713（複数回答）

	件数	割合（％）
1. 若者世帯や子育て世帯が生活しやすい住戸の供給や住宅	353	49.5
2. 高齢者や障がい者などが地域で安心して暮らせる住環境	376	52.7
3. 高齢期に適した住まい方に関する情報提供	191	26.8
4. 住宅の確保が難しい世帯への福祉政策と一体となった居	235	33.0
5. 住宅に関する情報の提供、総合相談窓口の設置	72	10.1
6. 安心して住宅が取得できるよう、住宅の質を高めるため	65	9.1
7. 住宅リフォーム助成制度の導入など既存住宅ストックの	109	15.3
8. 適切に管理されていない空き家の発生防止や利活用促進	163	22.9
9. マンションの適正な管理及び建替え等に対する支援・情	36	5.0
10. まちなか（中心市街地）での定住人口を増やすための取	17	2.4
11. 住宅の防火・耐震化等の促進や、災害時における住宅確	119	16.7
12. 密集住宅市街地の改善	47	6.6
13. 那覇市の歴史・文化資源を生かした景観形成への支援	36	5.0
14. 市民ボランティアなどとの協働による住環境づくり	26	3.6
15. 脱炭素社会の実現に向けた、住まい・住環境づくりのた	31	4.3
16. IoT住宅やテレワーク等、新しい技術や住まい方に対応	37	5.2
17. その他	15	2.1
無回答	20	2.8

		問25 本市が、力を入れるべきだと思う住宅政策								
		合計	1. 若者世帯や子育て世帯が生活しやすい住戸の供給や住宅取得等の支援	2. 高齢者や障がい者などが地域で安心して暮らせる住環境の整備	3. 高齢期に適した住まい方に関する情報提供	4. 住宅の確保が難しい世帯への福祉政策と一体となった居住支援	5. 住宅に関する情報の提供、総合相談窓口の設置	6. 安心して住宅が取得できるような、住宅の質を高めるための取り組み	7. 住宅リフォーム助成制度の導入など既存住宅ストックの活用促進	8. 適切に管理されていない空き家の発生防止や利活用促進
上段：件数 下段：横％										
問2 あなた自身の年齢	全体	713 100.0	353 49.5	376 52.7	191 26.8	235 33.0	72 10.1	65 9.1	109 15.3	163 22.9
	30代以下	136 100.0	98 72.1	42 30.9	10 7.4	42 30.9	15 11.0	19 14.0	21 15.4	32 23.5
	40～50代	241 100.0	114 47.3	120 49.8	67 27.8	80 33.2	29 12.0	22 9.1	38 15.8	62 25.7
	60代以上	336 100.0	141 42.0	214 63.7	114 33.9	113 33.6	28 8.3	24 7.1	50 14.9	69 20.5
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

		9. マン ションの 適正な管 理及び建 替え等に 対する支 援・情報 提供	10. まち なか（中 心市街地） での定住人口 を増やす ための取 り組み	11. 住宅 の防火・ 耐震化等 の促進 や、災害 時における 住宅確保 の取組み	12. 密集 住宅市街 地の改善	13. 那覇 市の歴史・文化 資源を生かした景 観形成への 支援	14. 市民 ボラン ティアな どとの協 働による 住環境づ くり	15. 脱炭 素社会の 実現に向 けた、住 まい・住 環境づく りのため の取組み	16. IoT 住宅やテ レワーク 等、新し い技術や 住まい方 に対応し た住宅の 普及推進	17. その他	無回答
上段：件数 下段：横％											
問2 あなた自身の年齢	全体	36 5.0	17 2.4	119 16.7	47 6.6	36 5.0	26 3.6	31 4.3	37 5.2	15 2.1	20 2.8
	30代以下	8 5.9	3 2.2	22 16.2	7 5.1	6 4.4	3 2.2	7 5.1	11 8.1	1 0.7	7 5.1
	40～50代	13 5.4	9 3.7	37 15.4	16 6.6	11 4.6	4 1.7	6 2.5	14 5.8	6 2.5	5 2.1
	60代以上	15 4.5	5 1.5	60 17.9	24 7.1	19 5.7	19 5.7	18 5.4	12 3.6	8 2.4	8 2.4
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

選択肢の数や表現が異なるため単純に比較できないが、参考までに前回調査と比べると、「1. 若者世帯や子育て世帯が生活しやすい住戸の供給や住宅取得等の支援」や「3. 高齢期に適した住まい方に関する情報提供」、「4. 住宅の確保が難しい世帯への福祉政策と一体となった居住支援」の回答割合が高まっているものと推察される。



○ 最後に那覇市の住宅政策についてご意見、ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください

自由意見は 110 件あり、内容は多岐にわたっているものの、「市営住宅・公営住宅関連」（21 件）や「住環境づくり関連」（19 件）、「道路・交通・駐車場関連」（13 件）が比較的多い。

項 目	件数
1. 市営住宅・公営住宅関連	21
2. 住環境づくり関連	21
3. 道路・交通・駐車場関連	13
4. 高齢者・障がい者関連	8
5. 住宅取得関連	7
6. 空家・住宅の老朽化関連	6
7. 家賃関連	6
8. 情報提供関連	5
9. 公園、緑化関連	4
10. 景観関連	3
14. その他	16
合 計	110

1. 市営住宅・公営住宅関連 21 件
知人が宇栄原市営住宅に住んでおり、免許が無く、バス通勤をしているが、停留所までが遠くて不便と聞きました。他の市営住宅（石嶺団地、豊見城団地など）は団地内に停留所があるのに、宇栄原市営住宅内の道路には停留所が無いのはなぜか疑問とのことです。道幅もたいして狭いわけではないのに。宇栄原市営住宅は高齢者が多く、バス利用者も多いはずなのに。宇栄原市営住宅の住民は、宇栄原バス停か小禄中前バス停まで歩いて行くか、宇栄原団地前バス停まで歩いて行くしかない。団地内の道路に、新たにバス停を作っていただけると住みやすく、高齢者の外出も増え便利になると思います。
公営住宅（市営団地など）の充実と戸数を増やしてほしい。高齢者の優先順位を上位にしてほしい。入居条件や、入居後など市営住宅の入居条件を継続的にチェックしてほしい。入居後、収入も増え、入居条件に当てはまらない人もずっと入居している場合もありそう。これでは、本当に借りたい人がいつまでも市営住宅を利用できない。
市営住宅の空き部屋が多く散見される。一方で高齢者のアパート探しに苦労しているということも多々聞く。特に独居では孤独死などの問題もある。それでも声かけ（隣人へ）など、解決はできると思う。先例がない、規約などがない等と言っているのは問題の解決にはならない。法や規則を改善していくことも、行政にとっては今後の大きな仕事となろう。私は、那覇市役所を訪れる度に若手職員の笑顔と親切なおもてなしに満足している。若手職員の皆さん、頑張れ。
毎年応募して 10 年以上かかって、やっと市営住宅に入居できました。生活保護卒業のコースに乗れましたが、51 歳です。近隣見渡すと、市営住宅に親子、親戚みんな一人ずつお住いの贅沢な方もいるようで羨ましいです。火災アラームの誤作動時に「電話しなくてよい」とはっきり自治会職員に言われ鼻白みました。たくさんの利権の絡んだ難しいお仕事、おいしいお仕事かと思いますが、何かあった時、死人がでないようにしてほしいものです。高齢など、環境もあるとは思いますが、高層住宅での注意、地続きの階の防犯等、ネット、冊子等で対策できるようにしてほしいです。入居時の説明には不満足でした。エレベーター内に「子どもの転落」について張り紙があるのみです。アルミ缶集め、共用水の窃盗など、だいたいゆるい所があり、当たり前になっているようで怖いです。エレベーター内大小便、チラシ入れに菓子飲料ごみはあり得ません。
市営住宅は緑（木々）やお花庭園が少なく、建物の周りは癒される場所がない。駐車場も訪問者専用がなくて困っている。
県営住宅入居はどのように選定されるのでしょうか。友人の一人は 20～40 年間県営住宅に申し込みしているが、入居のチャンスが得られず困っていると話していました。長年入居するチャンスが得られないのは疑問に思う。

1 階のパイプのサビをどうにかしてほしい。水槽の点検時には水槽の外側の壁やパイプの掃除もしてほしい。
那覇市を含む県内においては、住宅取得価格（持家価格や賃貸住宅家賃など）が上昇している。富裕層以外は住めないまちになりつつあると感じる。これまでは民間事業者の経営圧迫等に配慮していたと思うが、上記のような状況においては、今後は積極的に公営住宅の建設を進めてもらいたい。中間層以下の所得者、高齢者、障がい者などが住みやすい住宅政策を希望する。また、公営住宅1階には、スーパー、薬局などの店舗、デイケア施設、保育園などを併設し、日常生活においては近隣移動ですむような、コンパクトシティ的な施設づくりを検討してもらいたい。
新しい市営住宅に住んでいる知人がいるが、私たち家庭よりも年収が高く、低い家賃で住めているのでうらやましい。定期入居の拡大は難しいと思うが、取り組んでいただけるとありがたい。那覇市がより暮らしやすくなりますように。
保証人がいなくても入居できるように行政で考えてほしい。県営住宅の退去時の費用が高い。
県営住宅内に子どもたちの遊び場など、遊具設置を設けてほしいです。県営三重城市街地住宅に子どもが遊べる遊具が一つもありません。
那覇市営住宅は、家賃は安価でも設備が悪く、自払いで設置するのに多額の金が必要である。ガスコンロ、クーラー、ベランダや廊下に水栓がない。網戸がない、電気がない、水道蛇口が旧式で取り替える費用がかかる。民間アパートより、かなり費用がかかる。
今年5回目の市営住宅の申し込みをした。残念ながら抽選結果のハガキが見当たらず、第1回目～第4回目の申込み経緯を書いた文書を提出したが、それでも初回ということになった。高齢になった現在、がっかりである。申し込み者の記録をとったりして、データを持っておくべきと思う。あまりにも冷たく、誠意のない事務的な仕事のやり方で悲しく、4年の時間が無になった。私自身、ハガキを無くしてしまったことは反省しているが、データを保存することはご一考願いたい。
公営住宅をもっと増やしてほしい。低所得者用、年金生活者の住宅
市営住宅等に住まれている方は、日本中、難しい人が多いので、那覇市、県の方は大変されていると思います。良い方も多数おられるのですが、自分の権利を主張される方も多いので苦労されていると思います。自分は民間の新築アパートに住んでいて、ストレスなく生活しています。対価はそれなりにかかるのですが。
現代50代、子どもなし、夫婦2人のアパート住まいです。引っ越しを考えた時、アパートが借りにくくなる世代でもある。ひとり親世帯同様、優先して市営住宅などに入れるようにしてほしい。この先老後の不安がある人はたくさんいると思います。住居の不安だけでも解消できたら嬉しいのですが。
今から30年ほど前、「市営住宅の世話人は創価学会の人が仕切っている」と耳にし、数年おきにおなじような内容を耳にし、数か月前にも団地に住んでいる課が同じことを言っていました。単なる噂話なのか。団地に住む方はなぜ同じことを言うのか。団地に住むと創価学会に勧誘されるのか。怖くて住めません。都市伝説であって欲しい。
市営住宅内に包括支援センター等の総合的な窓口を併設して戴きたい
現在市営住宅でも空き家が多く存在する。早急に募集して、住居に困る方に解放してほしい
市営住宅は本当に住むところに困っている人に平等に貸し出して欲しい。お金がなく住むところもなく生活保護を受給して借りられるところも限られている中、相談にも乗ってくれなかった。

2. 住環境づくり関連 21件
各学校近くに児童館を増やしてほしい。住宅については価格安定を希望したい。
安心に過ごせる、危険などが少ないまちなみにしてほしいです。
住宅地域に高層住宅の制限必要。周囲の道路事情も勘案してほしい。道路整備がないまま乗用車が増えて危険である。
バス停留所をすべて屋根付きに改修してください。また、椅子の設置をお願いします。高齢者には辛いです。
緑豊かなまちなみにして。日陰を増やしてほしい。歩くのが大変です。
ひとり親世帯や、高齢者世帯に対応した住宅提供をお願いしたい。例えば、1階を病院や保育所にするなど
集合住宅の防災（特に火災）対策の再検討
URの活用

那覇市はホテルが多すぎる。住宅地もコンクリートのビルディングが多く、建物が密集して見苦しい。日光も遮られ、部屋の寒気が悪いと思う。区画整理にもっと力を入れてほしい。健康的な生活ができるように。
旧市民会館、長い間放置しており、問題あり。与儀公園の整備とともに市民の憩いの場にしてほしい。公園や文化施設が利用しづらく、住んでいて豊かさを感じきれない。余暇を活用できず、行くところがなく、スーパーマーケットに行くだけでも何ともお粗末。交通の便が悪く、公共交通も利用できず、結局、家の中で過ごすことになり、楽しい生活に縁遠い。那覇市の魅力がだんだん薄れてきて、他市町村に遅れをとっている感じがする。質の向上に努めてほしい。
空港に近い地域なので、防音工事を早くやってほしいです。
那覇の道を歩いていると、沖縄の人があまりいないように思える。歩いている人の顔を見るとなぜかナイチャーにしか見えません。沖縄の人はどこを歩いて、どこで仕事をしているのですかね。先輩たちと話をしても方言で話をする人も年々いなくなるし、ナイチャー達とばかり話をしている気がする。内地で活躍している沖縄人はたくさんいるよ。純潔沖縄人を他県に移住させない努力を国、役所の人たちは考えた方がいいと思う。沖縄の人たちがもっと頭が良くなって、ナイチャー達にも負けない努力をしたら人が自然と増えて、住みやすくなり、いろいろな問題が解決できると思います。タトゥーを入れた若者が多く住んでいるので怖いです。偏見野郎の嘆きでした。すみません。
23時頃の事です。遠くで工事の音も聞こえます。また、周辺でセンベロ、居酒屋が多く、朝まで酒に酔った者がいて、煩わしく眠れない時もあります。静かな夜を希望します。
マンションの住人です。コロナ禍で老人は孤立し、行き場を失い恐怖を味わいました。老人の私には、気軽に出入りできる居場所に公民館はぜひとも必要です。当蔵公民館は今建て替え準備中です。住みやすい那覇市を計画しているのであれば、こうした現下の地域の動きに行政はもっと目を向けて、今、行政の助けが必要です。
新しくできるまち、エリアがゴチャゴチャしている。天久、おもろまちエリアは電柱だらけで景観が悪く、通行も不便。電柱の地中化を進めてほしい。
東京や大阪などの大都市では、職住近接の都市開発がトレンドになっている。モノレール駅の周辺を見てみると、一等地に低俗の建物が存在し、効果的、効率的な都市開発、高度化利用ができていないのではと思う。
子育て世帯が安心して住める住環境の向上
無秩序に建設しているように見受けられる場所がある。もう少し、外に向けて発信して周りの意見も聞きながらするとよろしいかと思う。人間の動線を考えたうえで、出店計画を練ると、より地域密着の店ができると思う。
那覇市は車の渋滞する箇所が多い、道幅が狭い、空き家が多い、駐車場がまだまだ足りない。子どもが遊べる、児童館や公園が少ない。他の市町村に比べて那覇市は不便な事も多いですが、市民のためになる勉強会、健康体操、子育て相談など色んな種類のイベントが多いし、道路もかなり綺麗に整備されていて、とてもありがたく思っています。まちなみ整備課の皆さんが知恵を絞って考えて頂いている事に感謝します。これからも頑張ってください。
公園などペットの糞が多く、子どもたちはじめ利用者がほとんどいない。私もしたくない。夜間、深夜の公園での集まりでポイ捨てが多く、そのゴミが飛ばされてくる。また、敷地内に入って来ないか治安、安全性に不安がある。
市民の為に素晴らしいまちづくりを期待しています、宜しくお願いします。

3. 道路・交通・駐車場関連 13件

沖縄に留学に来た大学院一年生として、那覇市の住宅は同じ価格の家賃で東京に比べて住宅面積がかなり広いですが、交通面では本当に不便です。地下鉄がなく、バスの運行も少ないです。ライトレールがあるが、停車地点は少ない。当時、私は留學生の身分と在留カードの期限がもうすぐ切れるため、沖縄のSUUMOの物件が非常に少なく、不動産賃貸会社に様々な理由で拒否され、最終的に借りられる家は学校から遠く離れているため、交通の不便さを深く実感しました。沖縄は大きくないが、私にとっては少し歩きにくい。沖縄は島の都市です。観光都市として風景と文化環境保護を進めた方が良いと思いますが、他は改善する必要があります。

首里当蔵-鳥堀-山川の交通。車の通りが朝から晩まで多く、排気ガスにより住宅内まで汚れがひどい。それによる健康被害（気管支炎、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎など）も多くあるよう思うが、どうか。騒がしい道路の問題への対応を考えてほしい。
前島一丁目の川沿いの歩道の補修し直しをしてほしいです。
トランジットモールの廃止。時間を守らないことが多い。家に帰るのに遠回りばかりさせられる。国際通り、浮島通りが交通規制をかけられ、車まで家に帰れないことがある。どうしてもトランジットモールをやりたいなら、月1回にすべき。
昔ながらの密集住宅街が多いと思います。市の都市計画をしっかりと立てて、緊急車両が入れない地域をなくしてほしいです。道路に関して、ここで書いてよいかわかりませんが、一方通行（住宅内の）など狭い道を制限速度以上で通り抜ける車が大変多く、危険箇所が多々ありますが、その対策も合わせてお願いしたいです（凸凹をつけるとか）。汚い環境ではそれなりのことしか育たなく、やはり環境は大切であり、市民の意識も無意識の内に変わるかと思います。なので、住宅政策もまちづくりに合わせてきれいな那覇市を作っていただきたいです。
モノレールで行ける距離を増すなど、もっと交通機関を良くしてほしい。無免許の人に優しくない。通勤時渋滞にハマるとうんざりするので、渋滞緩和に取り組んでほしい。個人的に車がなくても移動が簡単にできる、電車を通して欲しい。バスは渋滞にはまるし、雨の日や日差しが強い日は、バスを待つのが辛い。また、バスは行き先がわかりづらいので、おでかけで使うには使いづらい。電車だとその辺りが快適なのでぜひ計画してほしい。日常の利便性以外にも、観光客にとって移動の選択が増えるのは、観光客を呼び込むのにも一役買うと思う。
上間小学校近辺は、交通量が多い割に歩道が無い道もあるので、車も歩行者も安心して通れるように整備してほしいです。
小学校の送迎バスを導入してほしい。駐車場がみんなあるわけではない
地域の学校の送迎があればいいな
利用可能な月極駐車場を増やして欲しい
歩道がでこぼこして歩き難いところが多い感じがする。最近では雨が降って滑りやすい道も多い 新都心地区でも照明が少なく暗いところが意外に多いです
まち並みに緑が少ないです。ジョギング等が出来る公園をもっと増やしてほしい。新都心の街路樹の雑草が気になります。もう少し手入れの回数を増やしてほしい。バス停の屋根とベンチを増やしてほしいです。

4. 高齢者・障がい者関連 8件
賃貸管理業をしています。賃貸について家主から高齢者の入居をお断りする方が多々いらっしゃいます。理由として、①高齢者に身内の保証人がいない。②高齢者に身内の保証人がいたとしても遠距離（本土等）なので保証人としての役割を果たせない。③孤独死した場合、行政の対応が不十分。孤独死後の家賃の保証がゼロ。すぐに次の入居者は決まらない。④いざ保証人へ特殊清掃費用を請求したら、役所は保証人へ破産申告を勧める。その結果、家主負担となる。それでは民間の家主は高齢者を引き受けるのは厳しい。市営住宅で空き室があれば、高齢者へお貸しください。福祉の充実になるのでは。
高齢単身者世帯への支援。災害時（地震や津波等）に所定の場所まで行けないこともあり、近隣に高層住宅がいくつも建てられているため、そこを開放して避難できるよう協力への取組や、行政からマンション等と協定を結べないか。
高齢者の健康維持のため、近隣に公園がないため学校の運動場の開放。
障がい者が安心して暮らせる家にしたいと願っています。犯罪やストーカー防止のために、安心して暮らす家があると、本当に助かると思います。ご近所トラブルにならないための暮らしや、高齢者が安心できる暮らしがしたいです。
高齢者が住める市営県営がもっと必要では（2DK）。年金生活の支援をしっかりとやっていただきたい。
賃貸契約で高齢者になると追い出されるのは困る

現在、夫婦2人で子どもはいない。今後1人になった時、持ち家は死後の処分などが困難になるため、高齢者賃貸マンションに暮らしたいと思っているが、今は選択肢が少なすぎる。ワンルームでいいので、管理が行き届いた安心できる住まいを建ててほしい。介護状態になった時や亡くなった時など、高齢者には不安材料がかなり多い。住宅とセットで相談窓口など設置してくれたら助かる。那覇市が率先して高齢者に優しいまちづくりをしてくれることを期待している。

今後、高齢化が進むので住宅に不安を感じています。賃貸で住み続けられるのか、資金面にも不安があります。

5. 住宅取得関連 7件

土地が高すぎる、建築単価が高すぎる、金持ちしか新築戸建ては建てられないのでは。擁壁費用の助成金などあれば助かる。

家の購入を考えているが、価格が高すぎて購入できない。空家などを活用して、もっと那覇市で購入しやすくしてほしい。家賃も高くなってきているので、住みにくくなってきている。何かしら補助や支援をしてほしい。

今後、外国人労働者が増加していく一方で、不動産会社による外国人門前払いが後を絶ちません。私たちは、休眠貯金を利用し、外国人住環境支援を行っています。行政との協議の場を設けていただけますと幸いです。

住宅購入は、現在県民には手が届かない価格になっている。改善してほしい。県外の人々の移住が増えるのはいいが、沖縄県の文化は継承できるように。例、お盆の時のエイサーの音楽がうるさい等がある。

東京から引っ越したばかりですが、今期は特に借りられる家がないそうで、半年間家探しをしました。1K、2DKが多く、子育て世帯が借りられる家を増やしてほしい。一方で、空家が目立つ地域もある。

大家側として、変な人が入ると対応できない事が多々あるので、貸しにくいと思います。行政のサポートがあると助かります。

独り身のため、将来高齢になったときに 住む場所を確保し続けられるか不安を感じます(今住んでいるアパートがいつかは無くなるかもと考えたときに、高齢者や単身者で契約してくれるアパートはあるのか等)。徐々に高齢者の割合が増えているので、自分達が当事者になった頃に解決策が今よりも出ていることに期待します。

6. 空家・住宅の老朽化関連 6件

中古住宅の活用、購入促進、市場を活性化できる施策をスクラップアンドビルドではなく、今あるものをどう活用するかできるか。

空家が多い。草が生えて周辺が通りづらく、治安も不安

空家、老朽化が進む家が多い

真和志線（2工区）に住む者です。当初、平成30年度事業完了予定がかなり遅れている状況です。建物はかなり老朽化が進み不安な日々を過ごしています。一日も早く工事が完了することを願っています。

空家対策の強化。空家については、家主に管理の徹底を、法律等により義務化する必要あり。防犯、火災、雑草の侵入、野良猫などによる糞尿被害など、近隣の住民に迷惑をかけている。

一軒家を建てたいとは考えるが、(希望する条件にあった)土地も無く、家自体の価格も高騰しているため前に進まない。行政で持ち主不明となっているような古い空き家なども管理・運用できるように、競売のような安価に市民への提供が可能な体制を整備いただければ大変ありがたいと思います。

7. 家賃関連 6件

駆け込み寺みたいに生活困窮者が寝る場所、プライバシーが確保できる場所も必要だと思う。

生活保護世帯が住む住宅をたくさんつくってください。本当に生活保護世帯は困っています。心からお願いします。この先どう生きていけば良いか心配です。生活保護者の行き場所をつくってください。心からのお願いです。

ひとり親や、低所得者等への家賃補助。

今後も利便性の良い那覇市に住みたいと考えていますが現状、住居費(家賃)が高騰し過ぎて一人暮らしはとても厳しいまじになったと思う。今は親と同居して何とか暮らせています。若者が住みやすいまちづくりを目指して欲しいです。今のままだと若者の県外流出が進むと思います。

家賃をもっと下げて欲しいです。

安くて環境の良い買い物が便利な地域に引っ越ししたい。32,000 円くらいの団地などに移りたい

8. 情報提供関連 5件

リフォームの適切なアドバイスやペンキなどの塗り替え。資金面等の援助、借入方法等のアドバイス
70代、80代の夫婦ですが、駐車場確保のため2階以上が住宅になっています。この先のことを考えて改装を考えていますが、いろいろな業者もいることだし、どちらへ相談したら良いのやら。

住宅政策に直接的な関係はありませんが、空家問題や空き地活用、方法等、国や市の垣根を越えた土地取得や固定資産の相続等について、具体的管理の方法や方向性の提案等をテーマにした勉強会、セミナーの開催を希望します。ただ単に税金の徴収だけではなく、そのような勉強会を開くことで地域環境の情報を集め、問題点等を検証することもより良いまちづくりにつながるのではないのでしょうか。国の管轄、地方の管轄といろいろあるとは思いますが、幅広い情報の広報を期待します。

IoT に関しては、市はイメージだけで導入しようとしているなら絶対に止めて下さい。もし本気で導入するのなら、標準化したパッケージを数千単位で作成して公共住宅を中心にセットすべきであり、個々のカスタマイズはプロジェクトが崩壊するから決してしてはいけない。IoT で何をするかについては、市の方向性をハッキリさせて、何を集計して制御するかよく考えて欲しい。恐らく電気ガス水道のインフラや空調、生存確認出来るものを中心に進めると思うが、安易にその辺の企業に丸投げで任せるのではなく琉球大学工学部に協力を仰ぎ、学生から将来住みたい、親に住まわせたい家に欲しい機能などをリサーチして設計して欲しい。彼らは IoT で何が出来て何が出来ないかを良く理解しており、地に足のついた現実的な提案をしてくれるはず。くれぐれもコンサルの語る夢物語を信じて無駄な機能に税金をかけないようにお願いします。

勉強不足・情報不足で申し訳ないのですが、那覇市がどのような住宅政策をしているのか、していこうとしているのかがわかりません。また、政策の背景や目的、利用条件、情報の提供をニュース番組などでも放送し、那覇市民が周知する機会を増やしてほしいです（沖縄県の特健健診を勧める番組は分かりやすいです）。どのような支援等があるか、困っている方々が情報を得られやすく、住みやすい環境になればいいなと思います。お取り組みよろしくをお願いします。

9. 公園、緑化関連 4件

国場川の川沿いに桜の木を植えて、本土のように花見ができるようにしたら良いと思っております。住宅政策とは違うかもしれませんが、奥武山公園で出店などイベントをしていただけると、公園の収益などが見込めるのではと思いました。

道路沿いの街路樹が伸び放題となり、車を運転していて危険だと感じる人が多いです。景観の問題で植栽しているかもしれませんが、見通しの良い広い道路なら理解できますが、伸び放題の街路樹帯は見ていて気持ちの良いものではありませんし、ゴミも投げ捨てられていますよ。自宅にはたくさんの葉が掃いても掃いても集まってきます。葉の形を見ると道路沿いに植栽されている木の葉で、排水溝の上にも溜まって雨の多い時期には積もった落葉の回収もしなければならず、毎回嫌な思いをしています。落葉の少ない木ってないのでしょうか。

子育て中の家庭にとって住宅はとても重要な問題だと思いますが、子育ては家の中だけでなく外出する機会も多いと思います。なるべく公園などの環境を整えて、子どもたちがのびのびと外遊びできるようにしてほしいです。

子どもが安心して遊べる公園を作って欲しい。

10. 景観関連 3件

首里地域の電線を地中化にしてほしい。きれいな景観にして、訪れる方も私たちも美化に取り組みたいと思います。

首里城近隣の街並みのように、住宅建築の際に一定の基準を設けて、整ったまちづくりの地域を増やしていけたら良いのではないかと思います。

コンビニチェーンが住宅近辺に建てられないようにできませんか。このアンケートに答えながら、あちらこちらにコンビニがひしめき合って、周辺環境の景観が損なわれていると思います。また、沖縄県全体的に、本土のスーパー、コンビニと同じようなものが入ってきて、沖縄ならではの建物だった赤瓦のような家屋などが無くなっていると思います。久しぶりに観光できた友達は、県外出身で県内に住んでいました。最近は沖縄にきた感がなくて面白くないと言っていました。コンビニが増えるよりも、なは一とのようなホールを新都心あたりに作っていただいて芸術文化を盛んにできたらいいと思います。住宅政策からズレてるかもしれませんが、書いてみました。よろしくお願いします。

その他 16件

いつもありがとう

いつも市民のためにご尽力いただきありがとうございます。これからも私たち市民のためにお知恵とお力を貸してくださいますようお願いいたします。

固定資産税を下げてほしい

日々ご尽力いただいていることに感謝しております。

住宅等の固定資産に対する税金が高すぎる。必死で働き、やっとで購入した土地、建物なのに子、孫への相続税が非常に高い。

住宅政策に関係ないですが、墓地はいらないと思います。骨保管のための敷地は、持ち腐れだと思います。

住民目線で本当に実現に向けた前向きな話し合いを実践してください。

ひとり親世帯、多子世帯等に目を向けても、単身者には全く目を向けない。ちゃんと働いて税金も納めてきたのに不公平です。

高齢者ばかりを守る政策は微妙。若者と高齢者をともに守るべき。どちらかという若者。あとは生活保護対象者の条件を見直すべき。

役所担当者がマイナンバーのことを知らなすぎる。役所商売と言われないう、たらい回しにすることがないよう、市民ひとり一人に寄り添って対応してくれるよう取り組んでいただきたい。

毎日の介護で疲れ果てています。このアンケートも書きたくなかった。それどころではないのです。住宅施策については、関係ないと思っています。私の人生も残り少ないのです。要望などございません。

「住宅政策」考えたことはありませんが、必要としている方に提供できたら良いと思います。市民の税金を有効に使用していただきたいです。

子育て世帯を多く呼び込んで、税収を増やすためにも若い世代が住みやすい住居を増やす。住居へのサポート。特に子どもの多い世帯が広めの部屋を借りられるようなサポートをしてほしい。

「〇〇地域」はいつも分かりづらい。行政の人しか分からない専門用語では。

アンケートの設問、意味が分かりにくい。

地元の人が利用するスーパーなどに観光客が多くて困っています。スーパーで商品購入をする観光客からは、割増料金を支払ってもらい、スーパー利用居住区の地元の方へ商品価格に還元するなどして欲しい。地べたに座って食事、一方通行を逆走、信号無視、車道を歩き続ける、大声で話す、7～8人ぐらいの団体が一塊りになってスーパーの中を移動、レジに並ぶなど、マナーどころか無法地帯です。地元の人の生活居住区と観光客が利用できる場所を分けて欲しい。